

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年10月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

(緊急アピール) 国立大学の予算の確保にご支援を

1. 国立大学フェスタ 2010 
2. SCITAセンターに実験用測定器が寄贈されます。
3. AMSで「長谷堂城大手門扉」の年代確定
4. 文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択
5. 学園祭の季節です!! 学生たちの企画を見てください!
6. ツリーハウス完成
7. キャッチボールしよう IN 山形
8. 東京で有機ELセミナーを開催

お 知 ら せ

1. 地域教育文化学部「金山町ふるさと壁画プロジェクト」
2. 工学部創立100周年事業
3. 工学部荒川サテライト・オープンカレッジ

「事業収益性を高めるために本当は必要なこと」

4. 「市民後見人養成講座」

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年10月19日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

国立大学の予算の確保にご支援を（緊急アピール）

山形大学に対して国から交付される運営費交付金は、効率化（▲1%）などにより年々減少しており、平成16年度の法人化以降約6億円削減されております。この間、本学では、外部資金の獲得や附属病院収入の増収、人件費や管理的経費の抑制などの経営努力を行いつつ、教育研究診療機能の高度化、学生支援の充実、地域貢献に取り組んでまいりました。

文部科学省の平成23年度概算要求については、「要求額」として、6,206億円の減額を行い、これに「元気な日本復活特別枠」を活用した、8,628億円の要望額を合わせ、総額5兆8,348億円（対前年度2,422億円増）の要求・要望額となっております。

「特別枠」要望の中には、

- ◆無利子奨学金の大幅拡大や授業料免除枠の拡大
- ◆新成長戦略の実現に資する新たな教育研究プロジェクトの推進
- ◆国立大学附属病院の教育研究体制の充実強化
- ◆きめ細かな学生支援
- ◆若手研究者のチャレンジ機会の拡充や「研究費の複数年執行」を可能とするための「科学研究費補助金の改革」
- ◆施設の耐震化の推進

など国立大学に関係する多くの事項が含まれております。

「特別枠」要望については、国の予算の透明化・見える化を進め、国民の声を予算編成に反映させる試みとして、パブリック・コメント（9月28日～10月19日）が実施されております。パブリック・コメントの結果は、平成23年度の予算編成において、政策の優先順位づけの基礎資料とすることとされております。

つきましては、国立大学関係予算の確保に向けて、国民の皆様からのご意見をパブリック・コメントにお寄せいただくよう、ご協力をお願い申し上げます。

平成22年10月5日

国立大学法人山形大学
学長 結城章夫

パブリック・コメントへ(リンク) <http://seisakucontest.kantei.go.jp/>

「元気な日本復活特別枠」要望に対するパブリック・コメントについて

- 国の予算編成の透明化・見える化を進め、国民の声を予算編成に反映される試みとして、9月28日(火)～10月19日(火)の間、「特別枠」要望について、パブリック・コメントが実施されています。
パブリック・コメントの結果は、平成23年度の予算編成において、政策の優先順位づけの基礎資料とすることとされています。

- 「特別枠」要望の中には、
 - ◆ **無利子奨学金の大幅拡大**や**授業料免除枠の拡大**(事業番号:1904)
 - ◆ **新成長戦略の実現に資する新たな教育研究プロジェクトの推進**
(事業番号:1905)
 - ◆ **国立大学附属病院の教育研究体制の充実強化**(事業番号:1905)
 - ◆ **きめ細かな学生支援**(事業番号:1905)
 - ◆ **若手研究者のチャレンジ機会の拡充**や「**研究費の複数年執行**」を可能とするための「**科学研究費補助金の改革**」
(事業番号:1906)
 - ◆ **施設の耐震化の推進**(事業番号:1901)

など国立大学に関係する多くの事項が含まれております。

- 今後、「特別枠」要望が認められなかった場合には、国立大学の予算は約5%の減となり、我が国の成長の原動力である「強い人材」を実現する教育研究活動に重大な支障が生じることが懸念されます。

- パブリック・コメントの詳細については、首相官邸のホームページをご覧ください。

官邸ホームページ



<http://seisakucontest.kantei.go.jp>

平成 22 年 10 月 5 日
山 形 大 学国立大学フェスタ 2010 全国立大学が「国立大学フェスタ2010 」を実施します。

(社)国立大学協会は、本年10月及び11月の間において各大学や支部毎において、大学の施設を開放したり、教育研究活動を広く紹介するなどの「国立大学フェスタ 2010 」を実施します。

山形大学においては、既にお知らせしているものも含め、別紙のとおり実施します。

〔目的〕

自大学の学生、教職員のみならず、保護者、地元政財界など大学所在の地域の関係者、更には広く国民に対して、大学の施設の開放や大学が行う教育研究活動の紹介などを通じて、大学が果たす役割や存在意義の重要性についての理解を得るために実施します。

〔背景〕

大学の存続と発展を支えているのは、大学に対する社会全体の正しい理解と信頼であり、ホームページをはじめ様々な機会・媒体を通じて、大学の教育研究活動を広く社会に発信することが重要です。

また、国立大学法人運営費交付金を含む平成23年度予算の概算要求が8月末に行われたところですが、その査定に当たっては広く国民の意見が反映される見通しであることから、大学の果たす役割を積極的に国民に説明し、理解を得ることが不可欠と考えます。

なお、登録イベントにつきましては「国立大学フェスタ 2010 」のロゴによりPRを行います。

(お問い合わせ)

山形大学総務部総務ユニット

電話：023 (628) 4003

国立大学フェスタ2010 登録イベント

○合計28件（人文2、地教2、理2、工5、農8ほか9件）

学部等	実施日	事業名
人文学部	10月12日 ほか	公開講座「嵐の中の日本企業」－再生への道標－ (10/12、10/19、10/26、11/2、11/9)
	10月16日 ほか	都市・地域学研究所公開講座「山形の魅力再発見パート8」 (10/16、10/30、11/7)
地域教育文化学部	10月20日	ふるさと壁画プロジェクト除幕式
	11月9日	栄養士養成のための臨地実習成果発表会
理学部	10月23日～24日	公開講座「DNAでつなぐサイエンス」
	10月24日	理学部研究室公開 (公開講座・学園祭に合わせて研究室の一部を公開)
工学部	10月2日	ロボットデザインセンター公開講座 「ロボットの未来・明日のカタチ」
	10月9日	重要文化財コンサート ルネサンス・カフェ「癒しの響き」
	10月9日	第4回 ホームカミングディ 山形大学工学部100周年記念講演会「母校設立と米沢市発展への戦略」
	10月16日 ほか	理科実験教室（工学部）出前実験教室（10/16、10/26）
	11月30日	有機ELセミナー 「地域に根ざし世界をめざす 有機エレクトロニクスの未来」－山形大学の挑戦－
農学部	10月1日～29日	収穫体験「大学農場へ行こう」
	10月2日	「森の学校」（小学生を対象とした演習林での体験学習）
	10月5日 ほか	実践講座「おしゃべりな畑」（募集終了） (10/5、10/19、11/2、11/16、11/30)

	10月7日 ほか	農学部 農学紹介講座「農学のタベ」 (10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11、11/18、11/25)
	10月9日	演習林におけるツリーハウスの完成披露会
	10月16日～17日	平成22年度 緑の鶴岡農林水産祭りへのブース 出展
	10月30日 ほか	農業体験「わんぱく農業クラブ」 (10/30、11/13)
	11月6日	女性研究者裾野拡大セミナー 「大学院生に聞いてみよう！大学での生活ってどんな感じ？」
全学共通	10月9日～11日 10月10日 10月23日～24日 11月6日～7日	大学祭 吾妻祭 山形大学工学部キャンパス 希華祭 山形大学飯田キャンパス 八峰祭 山形大学小白川キャンパス 11月祭 山形大学農学部キャンパス
SCITAセンター	10月1日 ほか	科学実験教室 山形県内を初めとする小学校から高等学校を対象に理科学習普及のための実験教室を開催している。
	11月19日	講演会 次世代を担う女性研究者による未来予想図～元気な女子が未来を支える～
小白川	10月2日～16日	ふすま同窓会90年記念祭 展示会
附属博物館	10月16日 ほか	公開講座「植物の魅力を訪ねて」 山形市野草園(10/16) 小白川図書館1階 シアタールーム(10/23、10/30)
	10月22日～11月2日	山形の植物展(場所：小白川図書館) 山形県の植物のさく葉標本等を展示
	11月下旬～12月上旬	疋田豊治ガラス乾板写真展
附属図書館	11月中旬～	ドキュメンタリ映画上映会
保健管理センター	11月5日	公開講座「発達障害の理解と支援についてー支援を中心に」

プレス発表資料

平成22年10月5日
山形大学

SCITAセンターに実験用測定器が寄贈されます。

山形東亜DKK(株)様から、SCITAセンターに4種の測定器が寄贈されます。

【寄贈式】

日時：平成22年10月18日(月) 15:00~15:30

場所：山形東亜DKK株式会社(新庄市大字福田字福田山711番地109)

山形東亜DKK株式会社様は、平成22年10月に新庄中核工業団地に設立されました。

本年10月で創立20周年を迎え、地域の理化学教育、環境教育に役立ててもらいたいとのご厚意により、山形大学SCITAセンターにpH(水素イオン指数)計、ORP(酸化還元電位)計、DO(溶存酸素)計、VT(温度)計を寄贈いただくことになりました。

これらの測定器は、平成15年から山形大学大学院理工学研究科生体センシング機能工学分野 神戸士郎教授との共同研究の成果として開発、製品化されたものです。

平成18年には国内特許出願、平成19年には米国での特許出願も完了しております。

山形大学SCITAセンターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自のプロジェクトである「やまがた未来科学プロジェクト」に基づいて、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されております。

小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムが提供できる施設に、最適な実験用測定器が設置されます。

(お問い合わせ)

山形大学SCITAセンター

電話：023(628)4506

PROJECT 1 微量試料酸素量測定法の開発

①注目される
酸素量測定技術

高温超伝導体やガスセンサー・無機EL、液晶・太陽電池・有機ELの透明電極に酸化物は不可欠となっています。これらの酸化物は、わずかの酸素量変化で特性が大きく変化するため、酸素量決定が重要と考えられてきました。しかしながら、酸化物薄膜の酸素量測定法は、これまで確立されていませんでした。

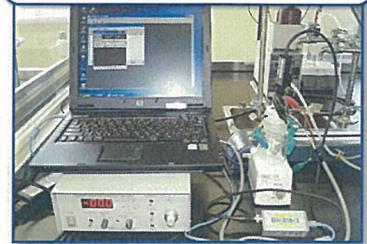
②これまでの研究

マイクロヨードメトリ法



試薬で酸化還元反応を起こし、酸素量を測定する。

マイクロクロロメトリ法



電気化学的に酸化還元反応を起こし、酸素量を測定する。

USB変換器(pH計/ORP計)の開発により測定の自動化にも成功。

③全く新しい酸素量測定法

表1に示したように、今回開発した**溶存酸素測定法**は、**1mg**の酸化物から**0.1%**の誤差で酸素量を精確に測定する方法です。更に、溶存酸素計に**USB変換器(型式:YUSB-01DO)**を使用することにより、測定を自動化することに成功しました。

【特願 2007-215121 複合金属化合物に含まれる陰イオン量決定法及び装置】

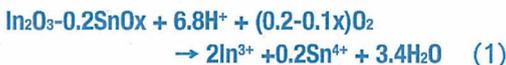
酸素量測定法の一覧

種類	方法	試料	誤差	長所	短所
化学分析	クーロメトリ	50mg	0.1%	誤差が小さい 自動測定が可能	試料重量が多い
	ヨードメトリ	50mg	0.5%	測定が簡単	誤差が比較的大 試料重量が多い
	溶存酸素測定法	~1mg	0.1%	自動測定が可能 測定が簡単・試料が少ない	
機器分析	熱重量分析	0.1mg	0.1%	高精度	絶対量は測定不可
	酸素分析装置	1g	~10%	測定が簡便	試料重量と誤差大
	オージェ電子分光	1μg	~10%	厚さ方向の測定可	誤差が大
	光電子分光	1μg	~数10%	厚さ方向の測定可	誤差が大

※表1

④溶存酸素法の原理

原理は非常に簡単です。一例として、透明電極を塩酸に溶かした時の反応式(1)を示しました。



溶解時に溶存酸素が吸収され、その量から酸化物中の酸素量xが求められます。

⑤USB変換器と実験方法

実験もいたって簡単です。図1のように、塩酸溶液に空気をフローさせ溶存酸素計を入れるだけです。あとは、酸化物を酸に溶かすと酸化物の酸素量を求められます。溶存酸素計をUSB変換器を経由してPCにつなぐと、全自動測定となります。酸素量の変化は、USB変換器を使うと時系列で表示・記録できるため、酸素量の変化が一目でわかります。精確な値は、記録からエクセル形式で取り出すことができ、式(1)から精確な酸化物の酸素量を求めることができます。

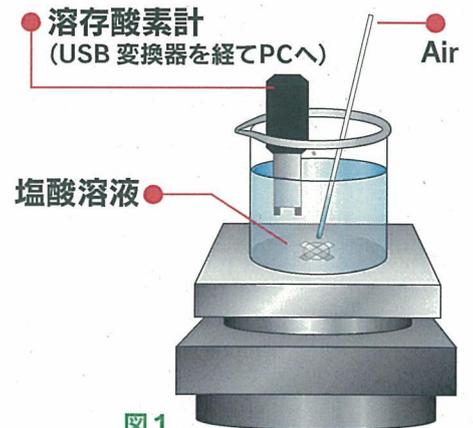


図1

⑥広がる応用分野

本技術によって、高温超伝導体やガスセンサー・無機EL・液晶・太陽電池・有機ELの透明電極の酸素量測定が期待されています。これまで必要だった作業者の専門知識やノウハウは、もはや必要ありません。溶存酸素法とUSB変換器によって、より高効率で品質の安定した酸化物素子を作製することが可能になるでしょう。

PROJECT 2 USB変換器の産学官共同開発

- 2003年 平成15年度産学連携研究萌芽育成事業採択(山形県企業振興公社)
山形大学神戸士郎准教授と山形東亜 DKK(株)産学連携開始
- 2005年 平成17年度ニューウェーブ研究創出事業採択(山形県産業技術振興機構)
神戸准教授のアイデアに基づき、山形東亜DKK(株)とUSB変換器のプロトタイプ製作
山形大学工学部においてモニター評価実施
- 2006年 USB変換器特許出願
USB変換器付きpH計、ORP計発売開始
USB変換器付き溶存酸素計、電圧・温度計プロトタイプ製作
- 2007年 USB変換器米国特許出願
館山浄水場(米沢)において、pH,ORPの長期無人観測を開始
USB変換器付き電気伝導率計プロトタイプ製作
- 2008年 USB変換器付き電圧/温度計発売開始
- 2009年 USB変換器米国特許取得(US 7593827 B2)
- 2010年 USB変換器付き溶存酸素計発売開始



USB変換器の製品化に寄せて
山形大学 大学院理工学研究科 神戸 士郎 准教授(※1)理学博士

USB変換器(YUSB-01)が製品化された。変換器と付属電極、そして専用ソフトをインストールしたPC。この3点セットで、pHまたは酸化還元電位(ORP)測定とデータ保存、グラフ化と加工が、手軽に、どこでも、自由にできる。独自電源も不要、USBハブで同時計測も可能で、変換器本体に電極と専用ソフト付で税込5万円と、研究者にとって夢の装置の登場である。(※2)

USB変換器は、マイクロローロメトリ装置開発の過程で誕生した。1986年に銅酸化物超伝導体が発見され、超伝導ファイバーがおこった。銅酸化物超伝導体の超伝導特性が酸素量によって決定されることがわかって、酸素量測定は超伝導研究に不可欠の技術となる。その後、超伝導体の薄膜化や単結晶化、さらに

は酸化物エレクトロニクスの進展もあり、微量試料の酸素量測定法であるマイクロローロメトリのニーズが高まった。私は、マイクロローロメトリ装置研究を2000年に開始した。ここでは、従来の10分の1の溶液(30ml)中で、陽極・陰極・ORP電極の3つの電極を安定して動作させる高い技術が要求される。その技術を持つメーカーを全国探しまわり、最後にたどり着いたのが、山形県新庄市にある山形東亜DKK(株)であった。灯台もと暗しとは、このことである。県内企業ということもあり、共同研究は非常にスムーズに進んだ。2003年より山形東亜DKK(株)と産学共同研究を開始、2005年には山形県産業技術振興機構の援助も受け、産学官連携研究へと発展した。2005年末にはマイクロローロメトリ装置を完成。従来の10分の1の5mgの試料で酸素量を測定することに成功した。

装置には、もう一つ問題があった。酸素量測定には、ORP電極の酸化還元電位の変化を時刻と共に記録する必要がある。実験後は記録したデータを加工し、グラフ化して二次データとし

て利用する。そのため、測定データは10秒ごとに手作業でノートに記録し、実験終了後は、PCにデータを打ち込むという膨大な時間をかけていた。GPIO規格でPCにデータを取り込むシステムも考えたが、GPIO付の測定器、ケーブル、ボード類は高価で、手が出せなかった。共同研究を行っていた山形東亜DKK(株)に相談したところ、間もなくUSB変換器のプロトタイプを持ってきてくれた。データをテキスト表示するだけの簡単な機能だったが、驚くほど使いやすい。データの入力間隔を短くしても問題なく動作する。使い勝手の改良や要望にも快く応じてもらい、グラフィック機能や様々なコマンド機能が次々と追加されていた。おかげで、マイクロローロメトリの研究開発は大いに加速し、USB変換器はスピンオフ技術として製品化に至ったのである。

産業界の技術、大学の知恵、県のコーディネートという産学官連携の理想のコンビネーションで世に出たUSB変換器(YUSB-01)を、様々な研究開発の場で役立てていただきたい。

執筆日(2006年3月)

※1 現在は教授 ※2 YUSB-01シリーズは製品ラインナップの拡充により現在ではpH計(YUSB-01PH)、ORP計(YUSB-01OR)、電圧/温度計(YUSB-01VT)、溶存酸素計(YUSB-01DO)の4機種が発売され、電気伝導率計(YUSB-01EC)の開発が進められています。

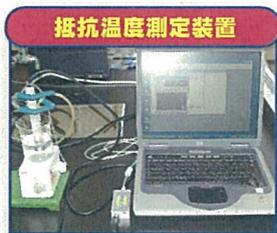
PROJECT 3 USB変換器の応用分野



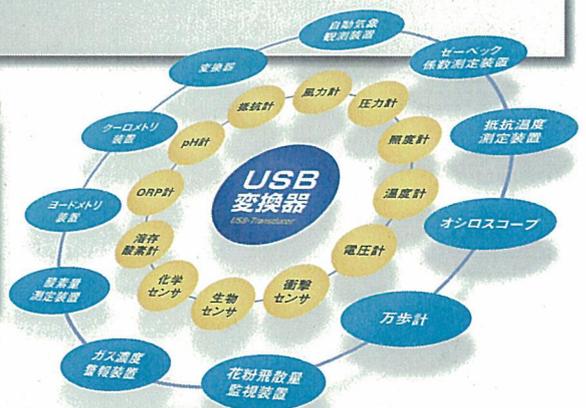
全自動水質監視装置
処理中の水のpH/ORP/温度を、無人で連続的に測定している。



全自動水質実験装置
投入薬剤量とpH/ORP/温度の関係を、自動的に調べる。



抵抗温度測定装置
材料の抵抗を常温からマイナス260度まで、自動的に調べる(開発中)。



お問い合わせ

● 微量試料酸素量測定法について
山形大学大学院 神戸研究室
〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16
URL: <http://ishii-kambelab.yz.yamagata-u.ac.jp/k-index.html>
E-mail: kambe@yz.yamagata-u.ac.jp
Tel: 0238-26-3287 Fax: 0238-26-3177

● 製品のご購入、仕様詳細について
山形東亜DKK株式会社
〒996-0053 山形県新庄市大字福田字福田山711-109
URL: <http://www.y-dkk.com/>
E-mail: post@ytd.chicappa.jp
Tel: 0233-23-5062 Fax: 0233-23-5010

PRODUCT INTRODUCTION

YUSB-01 series 全5シリーズ 米国特許取得 (US 7593827 B2)

POINT 1 記録計なしでダイレクト表示

測定値はデジタル・データとしてパソコンに記録できます。デジタル化された測定データは、市販の表計算ソフト等で簡単に解析することが可能です。

POINT 2 ACアダプターも不要

電源はUSBバスパワーから供給されます。バッテリー内蔵型パソコンに接続すれば即座にポータブル機器としてご使用頂けます。

POINT 3 驚きのコンパクト・ボディ

変換器本体寸法 (突起部含まず)
(W)78mm×(H)20mm×(D)40mm

POINT 4 最大12台※の同時接続が可能

多点計測による複合的な水質計測システムが簡単に構築できます。
※ハブなどの制約条件あり

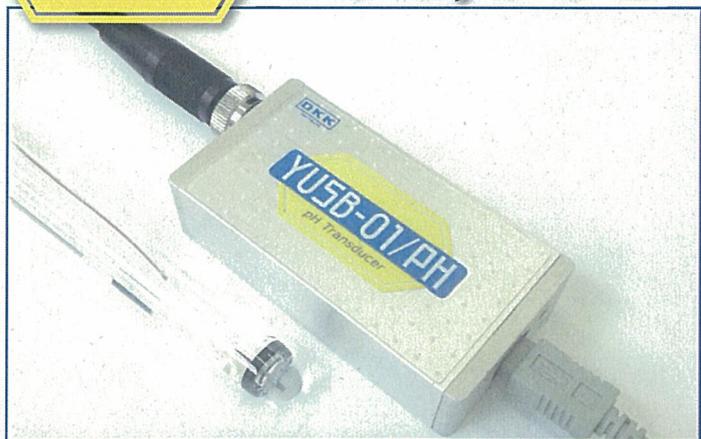
POINT 5 ソフトウェアが標準装備

標準添付の専用アプリケーション・ソフトウェア「YUSB_HOST」によって本製品の多彩な機能を簡単にご使用頂くことができます。YUSB_HOST をご使用になれば、パソコンのディスプレイとマウスがこの製品の表示部 / 操作部となり、これまでの水質計測装置には無かった直感的操作と視覚的な水質のモニタリングが可能です。

YUSB-01PH pH計

ソフトウェア
電極付き

¥50,000 (税込)



測定範囲: pH -1 ~ +15 (表示分解能: pH0.01)
ストロング膜を使用した内部液無補給型ガラス電極付き※
標準液自動校正機能搭載 (pH4.7 粉末試薬付き)
※オプションとして内部液補給型電極あり

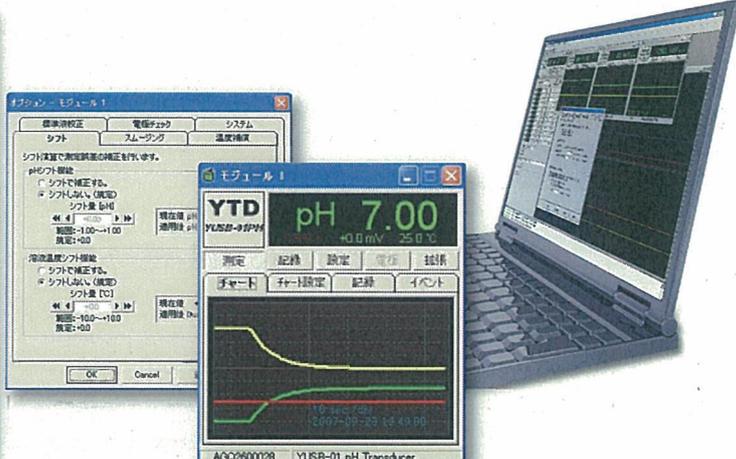
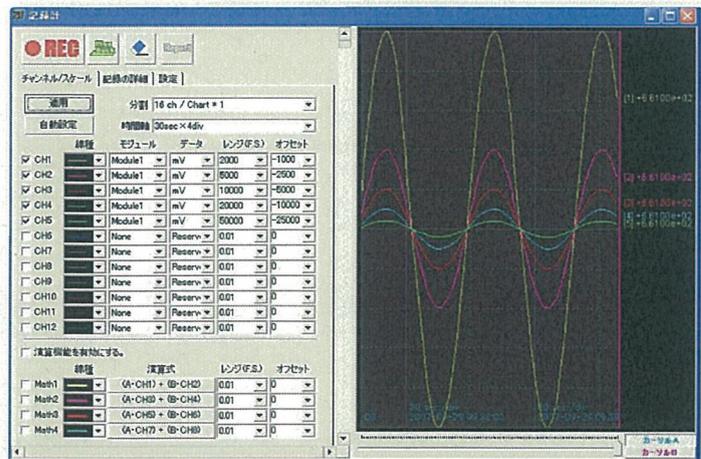
YUSB-01OR 酸化還元電位計

ソフトウェア
電極付き

¥50,000 (税込)



測定範囲: ±2120mV (表示分解能: 0.1mV)
内部液無補給型電極付き※
電極性能チェック用粉末試薬 (キンヒドロソ) 付き
※オプションとして内部液補給型電極あり



PRODUCT INTRODUCTION

YUSB-01VT 電圧／温度計

ソフトウェア
付き

¥50,000 (税込)

直流電圧：±100mV ~ ±50V の9レンジ (5桁表示)
熱電対：B,R,S,N,K,E,J,T に対応※
シャント抵抗 (オプション) の接続により 4-20mA の測定も可能
※熱電対は市販品をお使い下さい。当社では販売しておりません。



YUSB-01DO 溶存酸素計

ソフトウェア
電極付き

¥95,000 (税込)

測定範囲：0 ~ 50mg/L (表示分解能：0.01mg/L)
隔膜ポーラログラフ方式電極付き
塩化物イオン／大気圧補償機能搭載



YUSB-01EC 電気伝導率計

ソフトウェア
電極付き

近日発売 (価格未定)

測定範囲：0 ~ 20mS/cm × セル定数 (0.01, 0.1, 1.0, 10)
各種温度補償機能搭載
電気抵抗率および濃度換算表示機能搭載 ※仕様は発売時に変更される場合があります。



YUSB-01 シリーズ姉妹製品
パネル取付型変換器 YPMS-48 series

POINT 1 革新的な手のひらサイズ

変換器本体寸法
(幅)48mm × (高さ)48mm × (奥行)105mm

POINT 2 高い水準を誇る性能と使いやすさ

- CE マーキング品
- メモリーバックアップ機能付き。
- 電極は、すべて脱着可能な完全防水コネクターを使用。

POINT 3 切替いらずのフリー電源

フリー電源 AC100V~230V の電源電圧に対応。

全4シリーズ



POINT 4 付属品一式標準装備で即日使用可能

- 【標準セット内容】 ○変換器本体
○電極 (pH計・ORP計のみ保護カバー付属)
○電極ケーブル (ケーブル長10m)
※電極ケーブル長は有料で 20m, 30m, 50m も選択可能です。
○標準試薬

YPMS-48 pH計 / ORP計

【標準セット価格】
電極付き 各 ¥50,000 (税込)

YPMS-48 溶存酸素計

【標準セット価格】
電極付き ¥95,000 (税込)

YPMS-48 電気伝導率計

【標準セット価格】
電極付き ¥85,000 (税込)

製品のご購入、仕様詳細についてのお問い合わせは
山形東亜 DKK ホームページへ

<http://www.y-dkk.com/>

山形東亜DKK株式会社

〒996-0053 山形県新庄市大字福田字福田山 711-109

URL : <http://www.y-dkk.com/>

E-mail : post@ytd.chicappa.jp

Tel : 0233-23-5062 Fax : 0233-23-5010

平成 22 年 10 月 5 日
山 形 大 学

AMSで「長谷堂城大手門扉」の年代確定

山大総研に東北・北海道地区として初めて導入した、高感度加速器質量分析装置（AMS）の成果が出ました。

本学博物館所蔵の「長谷堂城大手門扉」は、慶長5年(1600)9月直江兼継が出羽に最上義光を攻めた際に、慶長出羽合戦と称された決戦の地、長谷堂城の大手門の扉として伝わるものです。

城の門番を勤めた者の家の天井に吊されて、代々保存されていました。戦いのさなかに上杉勢の放った鉄砲の弾跡が残されているなど、長谷堂合戦を語る貴重な資料です。

その資料を、本年6月に上山の山形大学総合研究所に設置された、高感度加速器質量分析装置（AMS）で初めて測定を行いました。

その結果、これまでの言い伝えと矛盾しない測定結果が示されました。

本学が所蔵する、歴史的にも貴重な資料の年代が科学的に証明されたことにより、資料の価値もより高くなりました。

また、高感度加速器質量分析装置の有効性、信頼性も確認されました。

長谷堂城大手門扉は、小白川図書館1階に展示しております。

※慶長出羽合戦:

この戦いは、奥羽(出羽)の関ヶ原ともよばれ、霞城公園に建つ義光像の指揮棒が指すところこそ決戦の地、長谷堂です。

長谷堂城は山形城の西南7kmほどの独立丘陵に築かれた山形城の支城でした。

猛攻をかける上杉軍、地の利を活かし必死の攻防を繰り広げる最上軍、激しい戦闘は半月にも及びますが、戦況は関ヶ原での東軍勝利の報がもたらされたことで一変します。

石田三成の西軍が敗れ、最上軍を相手に戦をしている場合でなくなった上杉軍の撤退が開始されるのです。

(お問い合わせ)

山形大学博物館

電話：023 (628) 4930

長谷堂城大手門扉の年代測定報告書

山形大学 YU-AMS グループ 門叶 冬樹、加藤 和浩、庵下 稔

2010年9月21日

1. はじめに

山形大学付属博物館に保管されてある長谷堂城大手門扉の左右の支柱（サンプル 2 点）について加速器質量分析法（AMS 法）による放射性炭素年代測定を行った。図 1 に長谷堂城大手門扉の外観写真を示す。



図 1. 長谷堂城大手門扉(http://www.lib.yamagata-u.ac.jp/news/oshirase_mainlib/oshirase090709.html)

2. 試料と方法

長谷堂城大手門扉からの測定試料は専用ドリルを用いて、左右の扉の回転支柱部分のほぼ中央から採取した。図 2 には、コアサンプル採取用の成長錐でサンプルを採取した時の写真を示す。



図 2. AMS 法で測定した長谷堂城大手門扉のサンプル採取。

サンプルの採取とグラファイト試料作製はパレオ・ラボ株式会社に外部委託し、放射性炭素年代は山形大学に設置した加速器質量分析計（YU-AMS : NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。正面から見て左側の扉の回転支柱が YU-1（ラボコードも同じく YU-1）、右側

の扉の回転支柱が YU-2 (ラボコードも同じく YU-2) である。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

表 1 に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代、 ^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲を示す。また、図 2 にはその暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

表 1 放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正用年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
YU-1	-26.65 ± 0.91	378 ± 30	380 ± 30	1451AD(53.0%)1515AD 1599AD(15.2%)1618AD	1445AD(60.3%)1525AD 1557AD(35.1%)1632AD
YU-2	-26.82 ± 0.96	347 ± 28	350 ± 30	1485AD(25.9%)1524AD 1559AD(3.1%)1564AD	1463AD(95.4%)1636AD 1570AD(39.2%)1631AD

4. 考察

長谷堂城大手門の左右の扉それぞれの支柱から採取した試料 2 点について、AMS 測定を行い同位体分別効果の補正及び暦年較正を行った。得られた暦年代範囲のうち、その確率の最も高い年代範囲に着目すると、正面から見て左側の扉の回転支柱 (YU-1) では 1445-1632 calAD (95.4%)、右側の回転支柱 (YU-2) では、1463-1636 calAD (95.4%) であった。

==== 年代測定の考え方 ====

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には 0xCal4.1.7¹⁾ (較正曲線データ: Intcal09²⁾) を使用した。なお、1 σ 暦年代範囲は、0xCal1 の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2% 信頼限

界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

参考文献

- 1) Bronk Ramsey, C. (2009). Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon*, 51(1), 337-360.
- 2) Reimer, P. J., Baillie, M. G. L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J. W., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Buck, C. E., Burr, G. S., Edwards, R. L., Friedrich, M., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Hajdas, I., Heaton, T. J., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kaiser, K. F., Kromer, B., McCormac, F. G., Manning, S. W., Reimer, R. W., Richards, D. A., Southon, J. R., Talamo, S., Turney, C. S. M., van der Plicht, J., & Weyhenmeyer, C. E. (2009). IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP. *Radiocarbon*, 51(4), 1111-1150

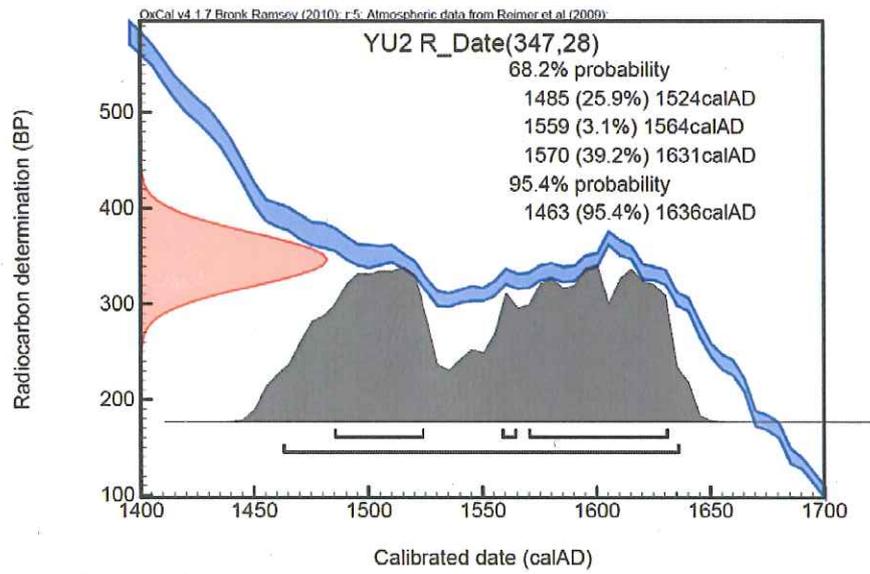
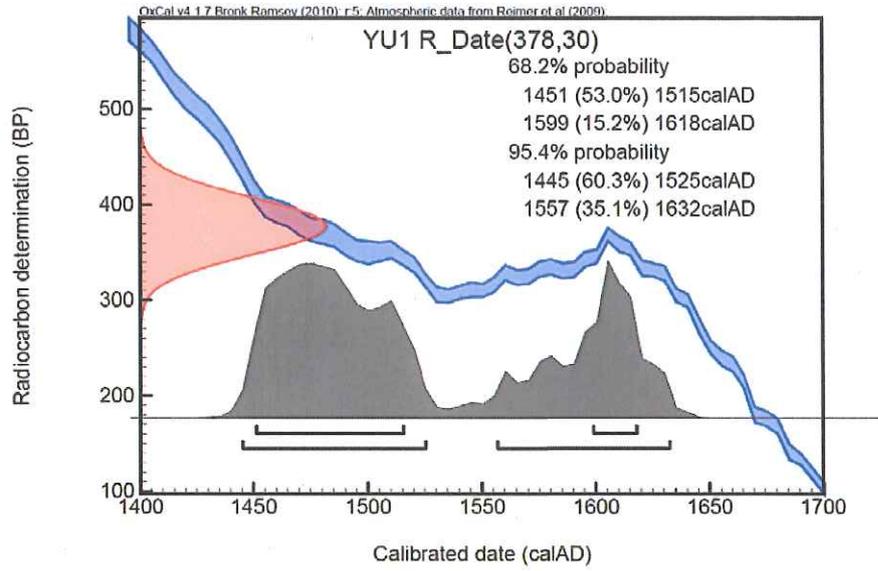
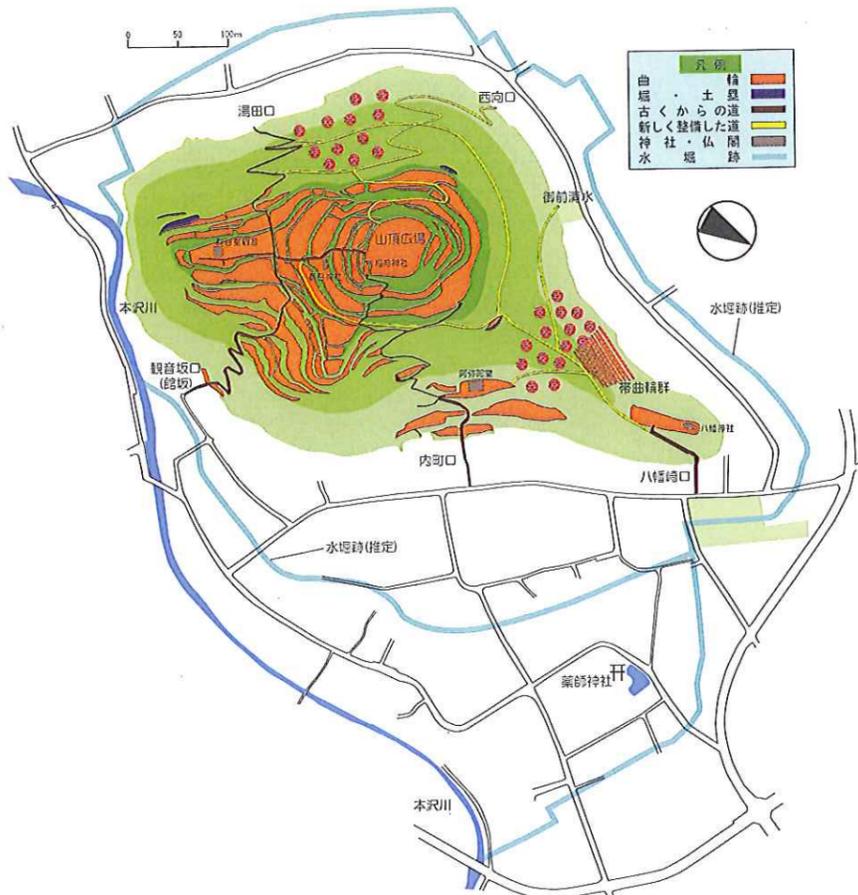


図 2. 長谷堂城大手門の左右の扉それぞれの支柱から採取した試料 2 点の暦年校正結果。



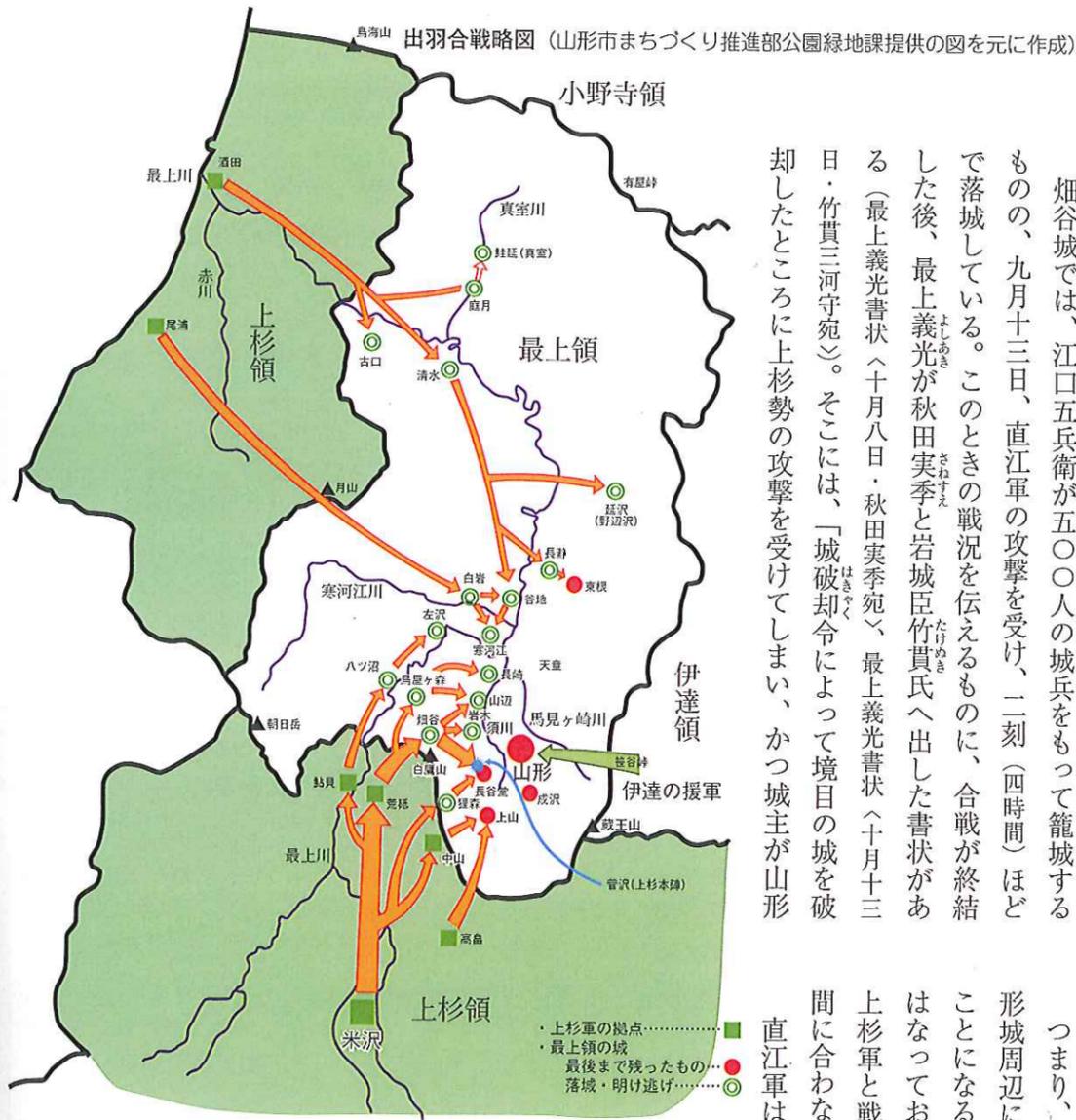
長谷堂城全体図 (山形市まちづくり推進部公園緑地課提供)

続けているので、関東口から上杉側のほうへ侵攻される心配はなく安心である、というところからえ方ができる。第二の解釈として、上方で徳川軍がさんざんに負けているので、関東口は安心であるというところからえ方もできよう。

いづれにせよ、徳川軍による関東口・白河口からの攻撃はな

いという判断は共通である。

そこで後半の決断につながっていく。下野口(日光)の嶋山城にいた弟の(おおくにさむらひ)大実頼を米沢へ移動させ、景勝が「御直馬」、つまり直接米沢・最上口へ出馬することもあるので準備万端整えてお



谷・梁沢・八ッ沼・鳥屋ヶ森・白岩・寒河江・山野辺・谷地・若木・長崎・延沢各城は次々に落とされていった。

畑谷城では、江口五兵衛が五〇〇人の城兵をもって籠城するものの、九月十三日、直江軍の攻撃を受け、二刻(四時間)ほどで落城している。このときの戦況を伝えるものに、合戦が終了した後、最上義光が秋田実季と岩城臣竹貫氏へ出した書状がある(最上義光書状へ十月八日・秋田実季宛、最上義光書状へ十月十三日・竹貫三河守宛)。そこには、「城破却令によって境目の城を破却したところに上杉勢の攻撃を受けてしまい、かつ城主が山形

に詰めていたため、各城には百姓しかいなくて次々落とされていった」とある。

つまり、最上方は作戦として境目の城を破却し、その間に山形城周辺に防衛戦を張り、狭い範囲に軍勢を集中させたということになる。そのなかで畑谷城については破却する城の対象にはなっておらず、籠城作戦で山形からの後詰(援軍)を待ち、上杉軍と戦う計画だったのであろう。だが、山形からの援軍は間に合わなかった。

直江軍は山を下り、十五日には菅沢に陣を取り、長谷堂城と対峙することになる。兼続は、長谷堂城への総攻撃の時機をみていた。

ところで、このとき直江兼続は、上杉討伐を中止して関ヶ原へと向かった徳川家康の動向をどのように把握していたのであろうか。これについては、九月二十一日に安田能元に宛てた直江兼続の書状の解釈をめぐる問題がある。書状には、「只今白川より申来候ハ、上方散々ニ罷成候由、相聞得申候、左様二候へハ、関東口ハ心安罷成候条、但馬守米沢へ被指越」「御直馬之御左右申上候儀も可有之候、内々其御用意専一候、大切之儀二候条、うらかたなども御させ候て内々御心持候へく候」とあり、上方・大坂方が大敗した情報とは単純にとらえられない。

第一の解釈は、岐阜城の攻防をはじめ大坂方(石田方)と徳川方との間でいくつかの合戦が行われ、そこで大坂方が敗北したものの、徳川軍は西上し

け、という指令を出したのである。景勝が会津から最上口へ出陣してくるということは、上杉軍による山形城総攻撃を敢行することを意味している。この上杉方の動きをいち早く最上側も入手していた。最上義光や政宗の母・保春院の文面からもこのときの緊迫感が漂っている(最上義光書状へ九月二十二日・留守政景宛、保春院書状へ九月二十三日・留守政景宛)。また、



上空から見た長谷堂城付近 (山形県山形市・山形市まちづくり推進部公園緑地課提供の画像を元に作成)

伊達政宗にも情報が入っており、政宗は最上氏の援軍として山形へ出陣させていた留守政景に、二本松に在陣していた上杉勢の過半が最上口へ移動したこと、同じく二本松にあった五〇〇丁の鉄砲のうち三〇〇丁を最上口に移したことを伝えている(伊達政宗書状へ九月二十五日・留守政景宛)。

長谷堂合戦と上杉軍の撤退

しかし、総攻撃を敢行する前に、九月二十九日上杉方に大坂方・西軍が関ヶ原の合戦で大敗したという連絡が入った。兼続は三十日、即時撤退の準備を整え、十月一日には全軍が撤退を

平成22年10月5日
山形大学

文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択

山形大学が応募した「学外連携学習を活用した実践的就業力育成」プロジェクトが採択され、就業力育成の一層の強化を図ります。

「学外連携学習を活用した実践的就業力育成」の概要

いま大学には、地域・社会の変化を踏まえた就業力育成の強化が求められています。

そこで、山形大学では、「エリアキャンパスもがみ」で行われている地域活性化の活動、SCITAセンターで行われている理科学習普及のための体験プロジェクト、立命館大学との相互交流活動など、学生が行う多様な教室外の学習活動を適正に位置付けることで、就業力育成の一層の強化を図る取り組みを実施します。

☆5つのポイント

1. 教室外の学習成果をPBLとして体系化
2. 正課カリキュラムとの関係を整理、新科目の開設
3. 獲得した能力を就業力として見える化
4. 就業力コミュニティサイトの構築
5. 5年間、合計約1億円規模の中期的プロジェクト

※文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」

平成22年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」は、大学内組織の有機的な連携による全学的な体制の下、入学から卒業までの間、実学的専門教育を含む体系的な指導を行うことを通じて、学生の卒業後の社会的・職業的自立が図られるよう、大学の教育改革を国が支援するものです。

5月28日に公募が締め切られ、441件の応募のうち、9月10日に閣議決定された「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」を踏まえ、当初予定されていた選定件数（130件程度）を上回る180件が採択され、9月28日に発表されました。

(お問い合わせ)

山形大学教育企画室 講師 松田岳士

電話：023(628)4981

「学外連携学習を活用した実践的就業力育成」の概要

5つのポイント

1. 教室外の学習成果をPBLとして体系化
2. 正課カリキュラムとの関係を整理，新科目の開設
3. 獲得した能力を就業力として見える化
4. 就業力コミュニティサイトの構築
5. 5年間，合計約1億円規模の中期的プロジェクト

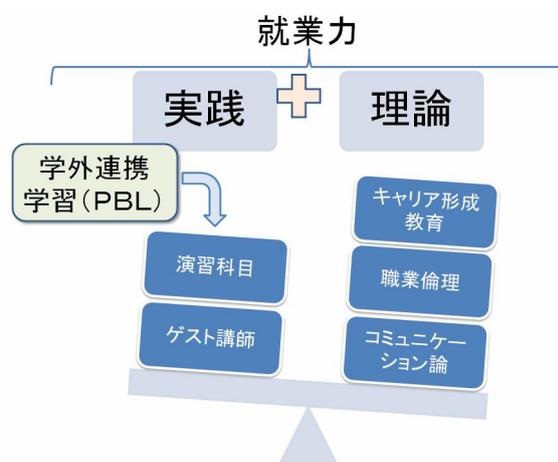
厳しい雇用情勢の中，学生の就職難が大きな社会問題となり，大学には，地域・社会の変化を踏まえた就業力育成の強化が求められています。山形大学では，昨年の大学教育推進プログラムに採択された学士課程教育構築のプログラムとあわせ，今回，学生が行う多様な教室外の学習活動を適正に位置付けることで，就業力育成の一層の強化を図る取組を申請し，採択されました。今後，平成26年度までの5年間で，概ね1億円の財政措置を受け，事業を推進していくこととなります。

山形大学では，「自然と人間の共生」に基づいた地域及び国際社会との連携を基本理念の一つとして，教室外で行われる多彩な教育・学習活動に力を入れています。エリアキャンパスもがみで行われている地域活性化の活動，SCITAセンターで行われている理科学習普及のための体験プロジェクト，立命館大学（京都市）との連携で行われている学生の相互交流活動などがこれにあたります（別紙：資料1のとおり）

現在，大学の卒業者に求められている就業力は，大学での座学の講義を聴くだけでは十分に習得されず，このように様々な場で実地の経験を積むことによって身に付くものです。本学でこれまで行われてきた多彩な学外連携学習は，まさにこの役割を果たすものですが，正課教育のカリキュラムと関連づけた体系化が行われていないため，教室内で修得した知識やスキルとの関係が明確ではありません。

このため，学生にとっては，このような学外連携学習活動が，学生生活のハイライトとして鮮明に記憶に残っているにも関わらず，その活動が，自らの就業力との関係で，どの部分の育成を果たしたかが分からず，結果的に，就職活動などの場面での自己アピールに結びついていません。

そこで，本取組では，現在行われている学外連携学習をPBL（Project-Based Learning）として体系化し，この活動に参加することによって身に付く就業能力を明確にします。企業等での採用の際には，「職業人として優れた行動を生み出す要因（差別化要因）」である



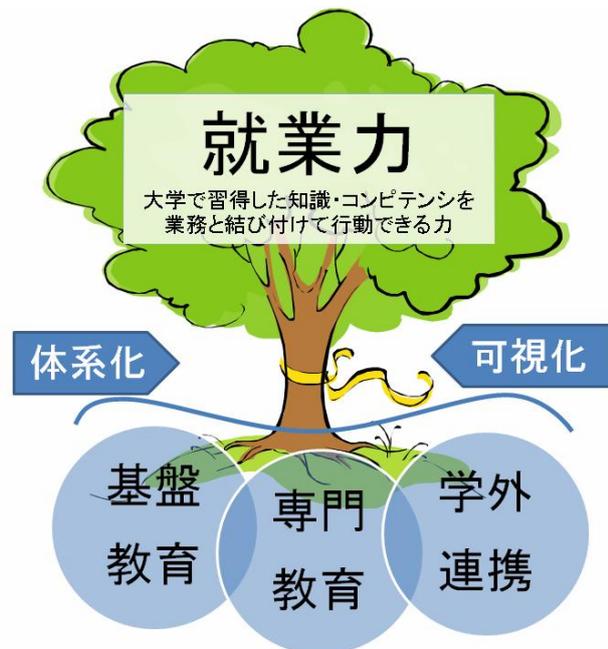
コンピテンシが重視されます。本取組では、このコンピテンシの観点から、学外連携学習により得られる効果が、社会人基礎力（経済産業省）や若年者就業基礎力（厚生労働省）のどの部分に対応するかを明示し、学生がエントリーシートへの記入や採用面接等の場面で、自分が身に付けた能力を、客観的にアピールできる形で示します。

また、それぞれの学外連携学習のプログラムごとに、その活動に参加することによって得られる能力の種類とレベルが示されることで、学生が学外連携学習に参加する際にも、主体的に参加できる上、活動後に自分の能力向上について振り返ることが可能となります。

さらに、現在開講されている、基盤教育（共通教育）の各科目や、専門教育のキャリア形成科目について、就業力の観点から位置づけを明確化し、体系的に見えるようにするとともに、能動学習型のキャリア形成科目を新規に開講し、就業力育成の拡充を図ります。

さらに、活動の記録・分析や、見える化された情報提供のために、就業力コミュニティサイト（仮称）をバーチャル空間に構築し、学生を中心とする関係者の情報交換の場としても活用します。

これらの事業を通じて、本取組では、対象学部におけるキャリアガイダンスの必修化に対応します。これまで、キャリア形成は就職支援の立場から行うものとの理解が強く、特に正課教育との整合が図られてきませんでした。平成23年からのキャリアガイダンスの必修化は、正課教育、課外活動、学外活動、就職支援をトータルに行うことを求めています。本取組の実施により、山形大学では、学部段階の全ての活動の成果を、個々の学生の就業力に対応させ、社会に求められる人材の輩出につなげたいと考えています。



就業力：大学の正課教育で修得した知識・スキルを、実社会、とりわけ業務と結びつけて行動できる能力

PBL (Project-Based Learning)：体験を通じた実践的な知識の獲得や深い理解を目的とした教育法で、課題探求・調査・問題解決などの要素で組み立てられる。学生は、自律的で能動的な学習姿勢とともに、発表などの学習成果が求められる。

資料1 本学が提供している学外連携学習（キャンパス外での活動を含むもの）

実施組織（事務局）	プログラム名	地域・特徴
高等教育研究 企画センター	エリアキャンパス もがみ☆	県北東部の最上地域をソフト型キャンパスに位置づ けて、フィールドワークなど体験型授業
大学コンソーシアム やまがた（大学コンソ ーシアムやまがた事 務局）	地域作りセミナー	小国町（県南西部）における観光情報調査、地域づ くりイベントの企画・参加
	最上川学 教育プログラム☆	最上川流域を対象としたフィールドワーク、流域住 民へのインタビュー
	学生実行委員会	高校生・中学生と科学者との語り合いの場「やまが たサイエンスカフェ」を企画・運営
大学連携推進室	大学間学生交流 プログラム	立命館大学（京都・滋賀）との包括的協力協定に基 づく学生交流プログラム。近畿地区におけるフィー ルドワークなど
FDネットワーク つばさ（高等教育研究 企画センター）	学生FD会議	学生FDサミットへの参加など
人文学部地域連携室	山形大学人文学部 地域づくり研究会	地域社会に関する調査・研究・実践を通じて、地域 活性化について考え、実践できる人材を育成する
地域教育文化学部 文化創造学科 音楽芸術コース	オーケストラ オペラ	オーケストラ定期演奏会、オペラの上演、小学校・ 特別支援学校への訪問演奏活動
地域教育文化学部	教育臨床体験（教育ボラ ンティア）☆	学校での授業や特別支援教育における学習支援、行 事支援、不登校児童生徒とのふれ合い体験、理科実 験教室や工作教室での指導補助などを通して、実践 的指導力の基礎を育成
理学部 SCITAセンター	サイエンス・ サマースクール	高校生を対象にした科学教育プログラム 学生は実験、観察等を補助
	小さな科学者 体験学習会	主に小学生とその保護者を対象とした実験・実践 学生は教材開発、実験、観察等を補助
	やまがた未来科学プロジ ェクト	長期休暇期間中の小学生向けサイエンスシアター補 助、生き物飼育、体験学習会の展示用ポスター作成 など
	やまがた『科学の花咲く』 プロジェクト	科学実験資料作成、日本一の芋煮会フェスティバル 科学実験展示、街角科学イベント補助など
	SCITA学生スタッフ	夏休みの自由研究相談、科学イベントの企画実施
農学部 （工学部）	エコキャンパス 推進委員会	学内のリサイクル活動を中心として大学構内及び 周辺地域の環境向上に努める。バザーなども実施。 工学部に支部組織がある。
農学部フィールド 科学センター	わんぱく農業クラブ	鶴岡市と共催。小学生とともに田植えから収穫・わ ら細工まで、年間を通して農作業を体験
	森の学校（演習林解放行 事）	小学3、4年生とともに四季折々の森における体験 学習。自然の豊かさ、美しさ、楽しさ、厳しさなど 多様な自然の姿を理解
小白川事務部 学生支援ユニット	山形大学・ 元気プロジェクト	学生から山形大学を元気にするプランを募集し、採 択したプランに経費措置、学生が実施
各学部	インターンシップ☆	企業における就業経験
就職支援室	キャリアサポーター	学生の企画による就職セミナー開催、企業訪問プロ ジェクトなど

☆単位認定科目を含む活動

プレス発表資料

平成22年10月5日
山形大学

国立大学フェスタ2010 
学園祭の季節です!! 学生たちの企画を見てください!

小白川キャンパスは「^{やつみねさい}八峰祭」。飯田キャンパスは「^{きっかさい}希華祭」。
実行委員やサークルが、趣向を凝らした企画で皆さまをお待ちしています。

☆小白川キャンパス『八峰祭』

日 時：平成22年10月23日（土） 10:00～20:45
24日（日） 10:00～16:00

上記の日時で行われるステージ企画のほか、両日行われる子どもたちのための「ハッピーパーク」や、屋台で買い物すると手に入る抽選券での豪華賞品の当たる抽選会を開催します。

☆飯田キャンパス『希華祭』

^{いしんぜんしん}医新前進～はじめの一步～

日 時：平成22年10月10日（日） 10:00～17:00

飯田キャンパスにおいて、しばらくぶりに開催される学園祭です。

救急講習会（BLS迷路）や信頼医療を築くための‘気持ち企画’など、医学部ならではの企画のほか、受験生のための企画や、模擬店、フリーマーケット、ステージイベントなど多彩な企画で開催します。

※ なお、工学部キャンパス『吾妻祭』は、先にお知らせしておりますとおり10月9日（土）～11日（月・祝）に開催されます。

農学部キャンパス『11月祭』は、11月6日（土）～7日（日）に開催されますので、詳細については次回の学長定例記者会見でお知らせいたします。

（お問い合わせ）

山形大学小白川事務部学生支援ユニット
（学生企画・課外活動担当）

電話：023（628）4121

平成 22 年 10 月 5 日
第 44 回八峰祭実行委員会
実行委員長 長尾 直樹

第44回八峰祭開催について

謹啓

残暑の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。

さて、今年度10月下旬、山形大学八峰祭を下記の要項で開催したいと思っております。八峰祭を通して山形市を盛り上げたいと考えておりますので、ぜひ足をお運びください。つきましては、ご理解とご協力を賜りたく何卒よろしくお願い致します。

謹白

記

開催日時 平成 22 年 10 月 23 日 (土) 10 : 00 ~ 16 : 30 本祭 (一日目)
同日 18 : 00 ~ 20 : 45 中夜祭
平成 22 年 10 月 24 日 (日) 10 : 00 ~ 16 : 00 本祭 (二日目)

開催場所 山形大学小白川キャンパス

開催目的 学生活動の活性化・地域の方々と密接な関わりを図ると共に、
小白川キャンパスの発展を目指す。

企画内容 ガチミス・逆ミスコンテスト～あの子も俺もミス山大～/良い
声選手権～これがほんとの声系美人～/箱の中身はなんだろ
な!?!～集中寺本堂へようこそ～/中夜祭/ハッピーパーク/実
行委員企画/八峰大抽選会/ (当日は理学部棟前に特設ステ
ージ設置)

来客総数 2000 人 (見込み)

以上

○問い合わせ先

山形市小白川一丁目 4-12

090-6876-1866 (長尾)

テーマ

いしんぜんしん
医新前進

はじめの一步

山形大学医学部

希華祭

きっかさい

10月10日(日)10:00~17:00

山形大学医学部飯田キャンパス

《主な企画》

救急講習会 (BLS 迷路)

信頼医療を築くための

‘気持ち企画’ 受験生企画

アロマ企画 模擬店

フリーマーケット 献血

ステージイベント

...etc.

《後援》

山形大学医学部医学科後援会

山形大学医学部医学科同窓会(蔵王会)

山形大学医学部看護学科後援会

山形大学医学部看護学科同窓会(樹氷会)

イメージフラワー

スノードロップ

~花言葉「希望」~

主催：希華祭実行委員会

平成22年10月5日
山形大学国立大学フェスタ2010  JANU
ツリーハウス完成

学生の自主的な活動を応援し、学生の力によって山形を元気にする
「山形大学・元気プロジェクト」のツリーハウスのお披露目をします。

日時：平成22年10月9日（土）10:00～11:20

場所：山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター上名川演習林

「山形大学農学部ツリーハウスプロジェクト」は、山形大学の上名川演習林内に、学生の力でツリーハウスを建設し、演習林を学生と地域住民の憩いの場、交流の場とすることを目的として活動を行っています。

このプロジェクトは、平成22年6月に結成し、7月に「山形大学・元気プロジェクト」に採択され、現在、10月9日の完成披露会に向けツリーハウス建設を進めています。

このプロジェクトは、材料調達から実際の建設、完成後の広報活動に至るまで、すべて学生達自身が行っています。

そのため、ツリーハウスに使用する木材は、地元産（山形県産）のものとするほか、ターザンロープやハンモック等の遊具も設置する等、随所に学生達のこだわりが盛り込まれています。

なお、これら学生の活動の様子は、山形大学HP内「YUM!」のページにて特設サイトを開設し、随時紹介しています。

(URL：<http://www.yamagata-university.jp/genki/>)

(お問い合わせ)

山形大学小白川事務部学生支援ユニット

電話：023（628）4133



はじめに これまでの過程

- 今年7月、
平成22年度山形大学元気プロジェクトに
採択される
- 7月下旬、ツリーハウス建設開始
- 完成！
- 2010/10/9日(土)、
ツリーハウス完成披露会実施。



着工後

- メンバーと知恵を出し合いながらの、楽しい作業
- 現地では大学教授や演習林技官の協力

着工前には地域の方にご協力をいただき、
着工後には学内の方々にお世話になり、
ツリーハウス完成

完成披露会について

*タイムスケジュール

- 9:00 学校出発
- 10:00 建設過程、利用状況説明
(宿舎講義室にて)
- 10:30 現地視察
- 11:15 視察終了
- 11:20 閉会





平成22年10月5日
山形大学

キャッチボールしよう IN 山形

元プロ野球選手たちが山形にやってくる！プロの技を教わるチャンス！

日 時：平成22年11月7日（日）13：30～15：30

場 所：山形大学小白川キャンパスグラウンド（雨天時は体育館等で実施）

講 師：田野倉利男（元中日・内野手）、松沼雅之（元西武・投手）、

水上善雄（元ロッテ・前北海道日本ハム二軍監督）、

寺村友和（元ヤクルト・投手）、森 忠仁（元阪神・外野手）

対 象：年齢・性別を問わずどなたでも。400人前後。（親子に限りません。）

参加費：無料（ただし、参加者はキャッチボール専用球ゆうボール（500円）を購入。）

備 考：素手で楽しめるように開発したボールのためグローブ不要（持参も可）

共 催：山形大学 特別協賛：NTT東日本

後 援：山形県、山形市、山形県教育委員会、山形市教育委員会、山形商工会議所、
山形県、野球連盟、山形地区野球連盟、山形県体育協会、山形市体育協会、
山形県スポーツ振興21世紀協会

※キャッチボールプロジェクトとは；

キャッチボールプロジェクトは、特に大都市において、場所の減少が機会の減少に直結し、子供とキャッチボールしない親が出はじめていることを憂慮した現役選手の声から06年からスタートしたプロジェクト。現役選手たちの監修で、安全性が高く、素手でもグローブでも楽しめるキャッチボール専用球「ゆうボール」を開発。また“キャッチボールしよう”を合言葉に、現役選手やOBを講師とした200人から2万人規模に至るまでの幅広いイベントの実施、DVDや小冊子等の制作・配布を通じた普及活動、行政への働きかけなどを行い、2010年はこれまで、5月（東京都調布市）、7月（新潟市）、8月（東京都港区）、9月（北海道函館市）で実施。

（お問い合わせ）

山形大学小白川事務部総括ユニット 石井

電話：023（628）4112

プレス発表資料

平成 22 年 10 月 5 日
山 形 大 学

国立大学フェスタ 2010 
東京で有機 EL セミナーを開催

実用化が目前にせまった有機 EL。その最新技術を活用した、地方大学の進むべき道、地域振興や産学官連携のあり方などを探ります。

山形大学有機 EL セミナー

「地域に根ざし世界をめざす 有機エレクトロニクスの未来」

－ 山形大学の挑戦 －

日 時：平成 22 年 11 月 30 日（火） 13：30～17：00

場 所：東京ステーションコンファレンス（JR 東京駅八重洲北口改札口より徒歩 2 分）

対 象：どなたでも 400 名（入場無料）

プログラム：

挨拶 結城章夫 学長

講演 1 「有機 EL の紹介と可能性」（案） 城戸淳二 卓越研究教授

講演 2 「三菱化学の次世代照明開発と大学への期待」（案）

小林喜光 三菱化学社長

パネルディスカッション「地方から切り拓く有機エレクトロニクスの未来」

<参加者>

小林喜光 三菱化学社長（メーカー代表）

山根一真 ノンフィクション作家（地域振興プロデューサー）

塚本 修 前経産省地域経済産業審議官（官庁代表）

城戸淳二 山形大学地域卓越教授

司会 福島敦子 フリーキャスター（消費者・女性代表）

まとめ 大場好弘 工学部長

有機エレクトロニクスは、山形大学がもっとも注力している研究課題です。

学長の結城プラン 2010 に基づき、世界的研究拠点形成を目指し人材獲得、研究環境整備を進めています。

その活動を、より多くの方々に知っていただくため、東京においてセミナーを開催します。

（お問い合わせ）

山形大学総務部広報ユニット

電話：023（628）4008

プレス通知資料（概要）

平成22年10月5日
山形大学

1. 地域教育文化学部「金山町ふるさと壁画プロジェクト」国立大学フェスタ2010

(概要) 前回の学長定例記者会見をお知らせいたしました、「金山町ふるさと壁画プロジェクト」の壁画が完成します。

除幕式等の日程は未定ですので、決まりしだいお知らせいたします。

完成日時:平成22年10月3日(日)

設置場所:最上郡金山町中田小学校区 国道旧13号線道路カルバート内

問い合わせ:山形大学地域教育文化学部 文化創造学科 八木文子 准教授
(TEL)023(628)4339

2. 工学部創立100周年事業 国立大学フェスタ2010

(概要) 米澤高等工業学校初代校長 大竹多氣は、当時の日本染織業界にシェブルールの配色論を導入し、豊田自動織機開発に多大なる影響を与えた人物です。

創立100周年を記念して、多氣の子孫である大竹俊樹氏の記念講演と展示会を開催します。

【記念講演会】

日 時:平成22年10月9日(土) 13:00～

場 所:工学部大示範教室(米沢市・工学部キャンパス)

【米澤高等工業学校初代校長 大竹多氣展】

日 時:平成22年10月9日(土)～15日 9:00～16:00

(ただし、10日(日)・11日(月・祝)は13:00～16:00)

場 所:工学部図書館3階(米沢市・工学部キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部企画総務チーム

(TEL)0238-26-3005

山形大学工学部図書館 三角

(TEL)0238-26-3019

3. 工学部荒川サテライト・オープンカレッジ「事業収益性を高めるために本当は必要なこと」
(概要) 工学部荒川サテライトで初めて開催する、高い収益性と成長を促すための戦略経営セミナーです。

【高収益経営・戦略論】

日 時:平成22年10月30日(土)、11月13日(土)、11月27日(土)、12月11日(土)

13:30~18:00

場 所:セントラル荒川ビル4階研修室(東京都荒川区荒川)

講 師:志村 勉(山形大学大学院理工学研究科 教授、工学部荒川サテライト長)

定 員: 28名

受講料: 20,000円

【中小企業・革新的経営論】

日 時:平成23年1月15日(土)、1月29日(土)、2月12日(土) 13:30~18:00

場 所:セントラル荒川ビル4階研修室(1月15日のみサンパール荒川 集会室)

講 師:柴田 孝(山形大学産学連携教授、国際事業化研究センター副センター長)

定 員: 28名

受講料: 15,000円

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部荒川サテライト

(TEL)03-6806-7901

4. 「市民後見人養成講座」

(概要) 山形県には、認知症や知的・精神・発達障害の人が3万人ほど暮らしています。このような方々の生活を見守り、必要な代理行為を行うのが後見人の仕事です。

いま、日本中で後見人が求められています。市民後見人養成講座は、成年後見を詳しく知りたい人や、後見人になることを目指す山形県民を対象とする1年間、128時間にわたる教育プログラムです。

【成年後見に関する座学(3時間×9回=27時間)】

日 時:平成22年10月30日(土)~平成23年7月9日(土)

【成年後見に関する体験活動(のべ100時間程度)】

日 時:平成22年11月14日(日)~平成23年9月

【修了式】

日 時:平成23年10月29日(土) 山形大学

場 所:山形会場 医学部大教室(山形市・飯田キャンパス) 9:00~12:00

米沢会場 米沢信用金庫大会議室(米沢市大町 5-4-27) 14:30~17:00

定 員: 山形会場 100名、米沢会場 100名

受講料: 31,500円

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学企画部社会連携・図書・情報ユニット 矢口

(TEL)023-628-4840

5. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしくお願ひいたします。

○工学部「百周年記念会館落成式典」挙行

日 時:平成22年10月9日(土) 14:30~15:20
場 所:工学部大示範教室(米沢市・工学部キャンパス)

問い合わせ:山形大学工学部企画総務チーム
(TEL)0238-26-3005

○工学部重要文化財コンサート「ルネサンス・カフェ 癒しの響き」国立大学フェスタ2010



日 時:平成22年10月9日(土) 開場14:30 開演15:00
場 所:工学部重要文化財内(米沢市・工学部キャンパス)
申込み受付:平成22年9月8日(水)10:00~電話受付。定員100名
入場無料です。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部企画総務チーム
(TEL)0238-26-3005

○大学祭「第16回 吾妻祭~僕らが繋ぐこの瞬間~」国立大学フェスタ2010



☆平成22年10月9日(土) in米沢女子短期大学
オープニングイベント、各種企画
清水翔太ライブ 開場16:00 開演17:00
☆平成22年10月10日(日) in山形大学工学部
各種企画、屋台・展示・研究室公開・フリマ
☆平成22年10月11日(月) in山形大学工学部
各種企画、屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ(弾丸ジャッキー)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会
吾妻祭HP⇒
<http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>

○人文学部公開講座「嵐の中の日本企業—再生への道標—」国立大学フェスタ2010



日 時:平成22年10月12日(火)~11月9日(火) 18:30~20:10
場 所:人文学部2階 205教室(山形市・小白川キャンパス)
対 象:一般市民・大学生・高校生 定員30名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部事務ユニット
(TEL)023-628-4203

○附属博物館「植物の魅力を訪ねて」国立大学フェスタ2010 

日 時:平成22年10月16日(土)～10月30日(土) 13:30～15:00

(毎週土曜日 全3回)

場 所:小白川図書館1階 シアタールーム(23日、30日)(山形市・小白川キャンパス)
山形市野草園(16日)

対 象:一般市民 定員30名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学附属博物館

(TEL)023-628-4930

○理学部公開講座「DNAでつなぐサイエンス」国立大学フェスタ2010 

日 時:1日目 平成22年10月23日(土)13:00～16:30

2日目 平成22年10月24日(日)10:00～17:00

会 場:山形大学SCITAセンター

山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室

対 象:一般の方(高校生以上) 40名(DNA実験のみ定員あり)

受講料:1,000円

申込み期間:平成22年9月15日(水)～10月15日(金)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

(TEL)023-628-4505

○山形大学生生活協同組合シンポジウム「ひろがれ 弁当の日 in 山形」

日 時:平成22年11月3日(水・文化の日) 13:00～16:00

場 所:山形大学第一体育館(山形市・小白川キャンパス)

対 象:どなたでも 700名(先着・参加申込が必要です。)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学生生活協同組合

(TEL)023-641-4380

○保健管理センター公開講座「発達障害の理解と支援についてー思春期を中心に」

国立大学フェスタ 2010 

日 時:平成22年11月5日(金) 18:00~20:00
場 所:基盤教育2号館 211番教室(山形市・小白川キャンパス)
講 師:山形県立鶴岡病院 神 田 秀 人 氏
受講対象:一般市民、本学学生・教職員 100名

問い合わせ:山形大学保健管理センター
(TEL)023-628-4154

○工学部ひらめき☆ときめきサイエンス「有機の光を体験しよう」

日 時:平成22年11月13日(土) 10:00~16:00
(受付は9:30~)

場 所:工学部(米沢市・工学部キャンパス)
対象者:中学生 20名
申込締切日:平成22年10月31日(日)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室
(TEL)0238-26-3004

山形大学工学部
創立100周年
記念事業

旧会津藩士の子息として、北海道渡島国戸切
地で誕生。会津戦争では自宅を官軍に焼かれ、
逃げ回りながら生き延びる。明治元年六歳。

当時の日本染織業界にシエブルールの配色論を導入、豊
田自動織機開発に多大なる影響を与えた人物。
若き頃より詩歌の志が深く新詩歌運動に携わり、詩を
作り英文学の翻訳をする。父親の大竹作右衛門の影響
を受け和歌を嗜む。

展示会・講演会
入場無料

「母校の一世紀を振り返る」

Homecoming day
記念講演会

場所：山形大学工学部内 大示範教室

日時：10月9日 13時

講師：大竹俊樹氏ほか

米澤高等工業学校
初代校長

大竹多氣展

期日：平成22年10月9日(土)～15日(金) 9:00～16:00

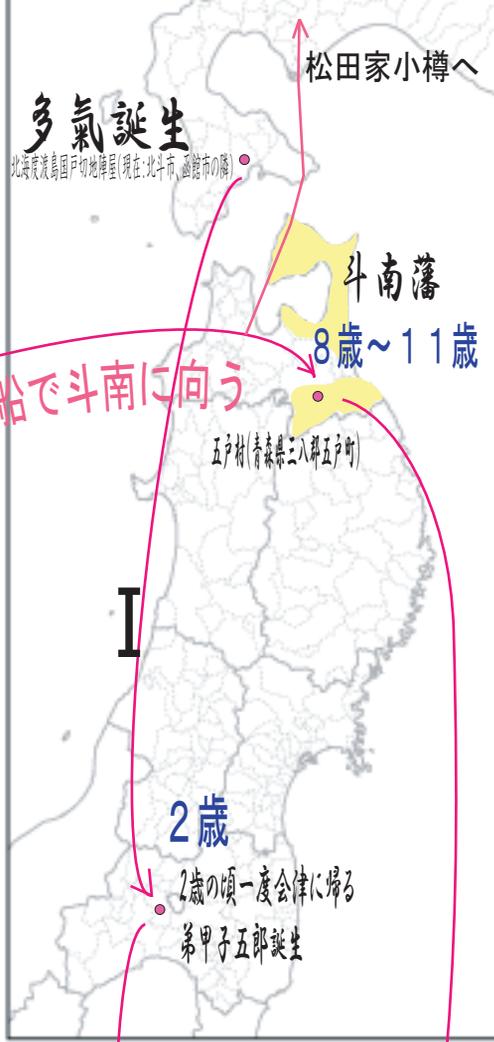
(但し10日(日)・11日(月)は13:00～16:00)

会場：山形大学工学部図書館 3階

問合せ先：〒992-8510 米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部図書館 担当：三角 みすみ Tel 0238-26-3019

歴史に翻弄された幼児期 12歳まで大竹多氣のたどった軌跡

5歳の時（慶応3年）大竹作右衛門と養子縁組をした。大竹家で生活するようになったのは斗南藩に入ってからと考えられ、それまでは松田家ですごしている。松田家は北海道に入植定住するが、斗南藩を経由して入植したのか、直接入植したのか詳細は分からない。



アメリカの蒸気船で斗南に向う

福島県

米沢市

新潟港 ← 明治3年9月ごろ塩川より舟で阿賀野川を下る

多氣は濱崎村で生活し、そこから塩川の郷校に通った。この二つの村は多氣の塩川は江戸時代の湊町で、会津からは廻米、関西からは塩や海産物が、ここを経由した。また、米沢街道の宿場町でもあり、会津では最も大きな商業町であった。しかし、明治になると交通網の整備により往時の賑わいは失われ、また静かな町に戻った。（おおよそ8歳まで）

この時代は、9代藩主松平容保が京都守護職の命を受け、会津藩が時代の潮流にのみ込まれる時期と一致する。

ちょっとした歴史と地理の知識

塩川町(現在:喜多市塩川町) 濱崎村(現在:福島県河沼郡湯川村)

熱塩村(現在:喜多市熱塩加納町) 当時は旧大竹は間道で出入り禁止であったので会津の袋小路で隠れるのいい場所であった。

常世村(現在:喜多市塩川町、塩川の東北3キロの所にある村)

当時の米沢-会津街道は、米沢市綱木-松原峠-大塩温泉-熊倉-塩川である。おおよそ70km



3歳~5歳

慶応4年2月22日会津に帰国時
江戸会津藩上屋敷(江戸城内和田蔵門)

12歳

有馬私学校
(芝赤羽橋か三田?)

東京23区の地図

会津若松城下
慶応2年8月23日西軍侵入
5歳11ヶ月~6歳

VIII

I

2歳

2歳の頃一度会津に帰る
第甲子五郎誕生

IX

II

VII

VI IV

V

熱塩村

常世村

塩川村

濱崎村

猪苗代湖

会津若松城下

慶応2年8月23日西軍侵入

5歳11ヶ月~6歳

(おおよそ8歳まで)

「勤」で経営していませんか？

事業収益性を高めるために

本当は必要なこと

高い収益性と
成長を促すための戦略経営セミナー

こんな方におすすめ

- 経営者
- 経営企画担当者
- 新規事業担当者
- 総務部長
- 次世代リーダー

高収益経営・戦略論

全4回

あなたの会社の戦略経営は 正しく機能していますか!?

【申込期限】10/20(水) 定員28名(最少開講人数8名) 受講料20,000円 時間13:30~18:00 場所:セントラル荒川ビル4階研修室

10/30
(土)

商品価値の磨き方
お客様のハートの掴み方
『売れる仕組みづくり』
マーケティング・エッセンス

- ・日本の長寿企業はなぜ儲からないのか
- ・高収益に必要なマーケティングの基礎
- ・ユニークで魅力的な顧客価値の創造
- ・マーケティングの心理学的側面と活用法
- ・商品の尖った魅力を伝えて顧客を魅了する法

11/13
(土)

強い会社の仕立て方
『選ばれる理由をつくる』
戦略エッセンス

- ・差別化を越えた特性による差異化
- ・競争より強いカテゴリー戦略
- ・主戦場を想定して他の会社に勝つ
- ・破壊的イノベーションへの対応
- ・成功に導く要素(KFS)を確定する

11/27
(土)

儲かる仕組みの組み込み方
『儲かる仕組みを組込む』
収益モデル・エッセンス

- ・ビジネスモデルは現代経営の重要な戦力要素
- ・利益が生まれる仕組みと要素
- ・儲ける仕組みは意識的に組み込む
- ・プロフィットプールとプロフィットゾーン
- ・収益性の保護対策

12/11
(土)

新しい事業展開の創り方
『企業に
成長力を付加する』
成長モデル・エッセンス

- ・新規事業の成否の要諦
- ・需要の創造とディマインドイノベーション
- ・バリューイノベーションとブルーオーシャン
- ・価値を束ねるパッケージングとソリューション
- ・組織体制と成長のための人的資源管理

実践経験豊富なビジネススクールでも
人気の講師が講義



講師
志村 勉 氏

山形大学理工学研究所 教授
山形大学工学部 荒川サテライト長
アタッカーズビジネススクール講師
博士(工学:早稲田大学)

東京都青梅市出身。
大手企業で建築・橋梁の構造エンジニア/デザイナーとして活躍、レインボーブリッジなど多数の作品を世に残す。その後、新規事業企画や社内改革で実績を挙げるとともにベンチャー企業の設立と経営を経験。早大ビジネススクールに籍中に国際ビジネスプランニングコンテストで1位となる。2005年11月より現職。市場創造、ビジネスモデル、イノベーションなどの技術経営学分野を専門とする。著書に「新版ビジネスプランニングの達人になる法」(PHP 研究所)ほか。

「不易」に 経営の原点があります

中小企業・革新的経営論

全3回

【申込期限】1/5(水) 定員28名(最少開講人数8名) 受講料15,000円 時間13:30~18:00 ※会場は下記参照

企業を大成長に導いた
経営の秘訣を伝授

講師
柴田 孝 氏



山形大学 教授(産学連携)
国際事業化研究センター
副センター長

山形県米沢市出身
東北学院大学工学部卒業後、米沢製作所へ入社。
技術課長、開発部長、PC事業部長代理を経て
2000年にNEC米沢取締役役に就任。2003年には
NECパーソナルプロダクツ執行役員となる。
2008年より現職。
大学と産業の連携を推進しながら、米沢信用金
庫顧問、NDソフト顧問、高陽電子取締役を歴任。

次々に社会や状況が変化していく中で、経営者はその世の中の移り変わりをいち早く捉えていくことが求められます。しかし、じつは経営の原点は「不易」の部分にあります。不易とはいくら世の中が移り変わり状況が変わろうとも、絶対に変わらないもの、変えてはならないものをいい、不易は流行の中にあり、流行が不易を生み出します。いまこそ、原点に戻り経営の本質を考えましょう。

1/15 (土) 日本のものでづくりの将来展望
会場:サンパール荒川 集会室

1/29 (土) 大野耐一の「トヨタ生産革新」
会場:セントラル荒川ビル4階 研修室

2/12 (土) 一倉定とドラッカーの経営論
会場:セントラル荒川ビル4階 研修室

オープンカレッジ申込から修了まで

①申込み

受講申込書をe-mailあるいはFAXのいずれかで申込期限までにお申し込み下さい。

②講座開催通知

講座申込期限後、3日以内に「開催通知」と「振込用紙」を郵送で送付します。

③受講料納入

振込用紙(郵便振替)で受講料を事前に納入ください。現金の取り扱いはできません。

④受講開始

入室の際に受講料の払込証明書またはコピーをご提示ください。

⑤受講修了

■山形大学工学部荒川サテライト オープンカレッジについて

【オープンカレッジとは】

○オープンカレッジとは大学教育の一部を広く地域の方々に開放するものです。

【受講申込】

○受講申し込みについては下記の「お申込み方法」をご覧ください。

○申込期限は各講座初回開講日の10日前までとなっております。

【講座の変更】

○受講者数が最少開講人数(8名)に達しない場合は、講座を中止することもありますのでご了承願います。なお、変更が生じた場合は速やかにご連絡いたします。

【その他】

○講師や他の受講生に迷惑な行為があった場合には、受講をお断りすることがあります。

○貴重品の管理については、ご自身の責任でお持ちください。

■お申込み方法

①受講申し込みを記載の上、e-mailまたはFAXのいずれかでお申し込みください。

②申込期限は講座ごと異なります。定員に達した場合は受付期間中でも募集終了させていただきます。

③申込期限後、1週間以内に「講座開催通知」ならびに「振込用紙」を郵送いたします。開講日までに受講料を納入してください。*但し、各講座の最少開催人数に満たない場合は、講座が中止となる場合があります。あらかじめご承知おきください。なお、受講を取り消される場合は、事前にご連絡ください。ご連絡がない場合は返金できないことがあります。

■お申込み先/お問い合わせ

山形大学工学部荒川サテライト宛

FAX:03-6806-7902

TEL:03-6806-7901

E-mail:arakawa@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

■会場

セントラル荒川ビル4階 研修室

〒116-0002 東京都荒川区荒川2-1-5

サンパール荒川(荒川区民会館)

〒116-0002 東京都荒川区荒川1-1-1

*1/15開講の講座のみサンパール荒川 集会室が会場となります。



山形大学工学部荒川サテライト宛

FAX:03-6806-7902

受講申込書

ご氏名	ふりがな				
ご所属 (企業・団体名)			役職		
ご連絡先	〒 - ご住所				
	電話 ()				
e-mail					
ご希望の講座に ○をつけてください	高収益経営	講座テーマ	開催日	受講料	○をつける
		売れる仕組みづくり	10月30日	20,000円	
		選ばれる理由をつくる	11月13日		
		儲かる仕組みを組み込む	11月27日		
	企業に成長力を付加する	12月11日			
	中小企業経営論	日本のものづくりの将来展望	1月15日	15,000円	
		大野耐一の「トヨタ生産革新」	1月29日		
一倉定とドラッカーの経営論		2月12日			
申込期限は各講座の開催日の原則10日前まで					

↑このまま送信してください

「市民後見人養成講座」

講座 内容

成年後見に関する座学 (3時間×9回=27時間)

1回目	成年後見概論	平成22年10月30日(土)
2回目	知的障害について	平成22年11月13日(土)
3回目	高次脳機能障害について	平成22年11月27日(土)
4回目	認知症について	平成22年12月12日(日)
5回目	成年後見の実務	平成23年 1月15日(土)
6回目	任意後見について	平成23年 2月 5日(土)
7回目	高齢者を後見すること	平成23年 3月 5日(土)
8回目	障害者を後見すること	平成23年 5月14日(土)
9回目	地域における市民後見活動	平成23年 7月 9日(土)

成年後見に関する体験活動 (のべ100時間程度)

1回目	知的障害者の実態把握	平成22年11月14日～11月26日
2回目	高次脳機能障害者の実態把握	平成22年11月28日～12月10日
3回目	認知症高齢者の実態把握	平成22年12月13日～ 1月14日
4回目	成年後見に関する実態把握	平成23年 1月16日～ 2月 4日
5回目	高齢者後見インターンシップ	平成23年 3月～5月
6回目	障害者後見インターンシップ	平成23年 5月～7月
7回目	市民後見準備活動	平成23年 8月～9月

修了式

日時 平成23年10月29日(土) 山形大学

場所

山形会場 山形大学医学部大教室

米沢会場 米沢信用金庫大会議室

人数

山形会場 100名 米沢会場 100名

費用

31,500円

主 旨

山形県には、認知症や知的・精神・発達障害の人が3万人ほど暮らしています。

この方々は判断能力が不十分なので、「金融機関との取引が難しい」、「悪質商法にひっかかりやすい」、「医療や介護を選ぶことが難しい」、などの不都合を抱えています。

このような方々の生活を見守り、必要な代理行為を行うのが後見人の仕事です。後見人はドイツでは名誉職世話人といわれます。それほどに、貴重で素晴らしい役割なのです。

いま、日本中で後見人が求められています。市民後見人養成講座は、成年後見を詳しく知りたい人や、後見人になることを目指す山形県民を対象とする1年間、128時間にわたる教育プログラムです。

学んだことを地域にしっかり還元できるように、講座修了生が地域で後見活動することの支援も予定しています。

3万人におよぶ認知症や知的・精神・発達障害の不都合を、皆さまのサポートで解消して下さい。住みやすい山形を創るのは県民の皆さまです。奮ってのご参加、宜しくお願いします。

申 込 ・ 問い合わせ

TEL : **03-5953-7010** 申し込み締め切り : **2010年 10月25日(月)**
(東京大学市民後見プロジェクト事務局)

メール : yamagata@shimin-kouken.jp

申込方法は、電話・メール・FAXとします。FAXの申込番号は **03-5841-0578** です。
『氏名(よみ)・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス』を添えてお申し込みください。

主 催 / 東京大学・筑波大学 文部科学省「社会人の学び直し」市民後見プロジェクト
後 援 / 山形大学、山形県、山形市、米沢市、山形信用金庫、米沢信用金庫、エーザイ株式会社、財団法人民事法務協会

FAX申込用紙

フリガナ			
お名前	姓	名	
ご職業			年齢
ご住所	〒□□□□-□□□□	都 道 府 県	
ご連絡先	TEL ()	FAX ()	

〈個人情報のお取り扱いについて〉…………… お申し込みいただいたお客様情報(個人情報)は講座の運営に必要な範囲で使用いたします。
ご本人様に無断で第三者に開示・提供することはありません。

上記項目をご記入いただき、FAXでお送りください。

03-5841-0578

受講資格について

Q誰でも受けられますか？

A20歳以上なら誰でも受けられます。山形県以外の方も大歓迎です。

体験活動について

Q体験活動は何をするのですか？

A大きく二つあります。

- ① 一つは、判断能力が不十分な人に対する地域の取り組みを把握すること。行政、施設、銀行、その他を訪問しヒアリングをします。どこに行って何を聞くかについては、講義の中で解説があり、ヒアリングシートが渡されますので、それに従って活動して下さい。
- ② 二つは、判断能力が不十分な人の生活に寄り添い、その方の後見人になるとしたらどのようなことをするのかの疑似体験です。グループホームや作業所に出向き本人の後見ニーズを探ります。受け入れてくれる施設等は、事務局で手配する、受講生が決める、のいずれかとなります。また、ご親族やお客様の問題を具体的に解決することを体験活動にすることも可能です。この場合、医療、法律、その他の専門家のバックアップも無料で受けられます。

資格や仕事について

Q資格や仕事をもらえるのですか

A学校教育法に基づき、すべてのプログラムを履修された方には東京大学から履修証明書が授与されます。これは、雇用促進やキャリアアップに資するものです。ただ、履修証明書があるからといって、すぐに後見人になれるわけではありません。そもそも後見人というのは資格があるからなれるものではなく、家裁が選任することでなるものです。このあたりについては授業の中で学びます。

休んだらどうなりますか

Qどうしても出れない日があるのですが、

A9回の座学のうち3回までの欠席は講座DVDにて補講します。ご自宅等でDVDをご覧になって、ポイントをレポート2枚程度にまとめてご提出頂きます。なお、授業の内容は山形会場、米沢会場ともに同じですので、出やすい会場に出て頂いても結構です。また、全部ではなく、興味のある講座だけ出席したい方のご要望にも対応します。

お金の振り込み方

Q受講料はどのように支払うのですか？

A受付後、お支払方法について資料が届きます（10月上旬より発送開始）。それに従い、東京大学の口座にご入金頂きます。振込手数料は受講生のご負担となります。 **裏面に続く**

個別相談

Q今すぐに相談したいことがあるのですが、、

A03-5841-0576（東京大学市民後見プロジェクト事務局）までお電話下さい。

事前説明会について

その他質問をお持ちの方、ぜひお気軽に参加してください（参加費無料）。

事前参加申込は不要です。

10月9日（土）

11時～12時 山形会場：山形市市民活動支援センター会議室A

（山形駅西口より「東西自由道路アピカ」を通り霞城セントラルの23階）

14時～15時 米沢会場：米沢信用金庫本店大会議室

（住所：米沢市大町5-4-27）

これまでの市民後見人養成講座については下記ホームページをご参照ください。

<http://www.shimin-kouken.jp/>

第10回

ところ 山形大学工学部重要文化財内



癒しの響き

山形大学工学部・重要文化財コンサート

メゾ・ソプラノ：相可佐代子
ピアノ：長野真保

平成22年10月9日(土)

開場 14:30

開演 15:00

主催・山形大学工学部
後援 山形県置賜総合支庁・米沢市教育委員会・(財)米沢上杉文化振興財団
(社)米澤工業会・山形大学工学部後援会・米沢市芸術文化協会

【お申込み受付】

平成22年9月8日(水)午前10:00から電話受付開始 なお、定員(100名)になり次第
締め切らせていただきます。お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム
TEL 0238(26)3005

入場無料



PROFILE



相可 佐代子 (メゾ・ソプラノ)

名古屋音楽大学声楽科卒，同大学院修了。2000年，笹川日仏財団共催パリ市立シャトレ劇場のオーディションに合格し，2001年に渡仏。劇場で行われたオペラのアンダースタディーを務める一方，劇場でのお昼のコンサートにも出演。劇場研修後の2003年にパリエコールノルマル音楽院で奨学生として研鑽を積む。同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。2004年からはシャトレ劇場アンサンブルメンバーとしても出演を重ねる。2006年からは活動の拠点を日本に移す。現在はソロ活動の他，2004年パリで日仏交流のために結成されたグループ「クルトパイユ」の活動も合わせ，日本各地での公演を行っている。



長野 真保 (ピアノ)

愛媛県出身。6歳からピアノ，バイオリンを始め，国立音楽大学卒業後，渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院にて，ピアノをジャン・ミコー，室内楽をドウヴィ・エルリー各氏に学ぶ。ピアノ最高課程コンサート科を首席で卒業，室内楽高等演奏家ディプロムを取得。また，同時期にドイツ・ザールランド州立演劇・音楽学校にも在籍し，ピアノ・コンチェルト過程を審査員の称賛付きで修了。マドレーヌ・ドゥ・ヴァルマレットコンクール（フランス）ベートーベン部門第一位（審査員の称賛付き）。これまでに，高野耀子，南節子，フリードリッヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー，マスタークラスで，バドゥラ・スコダ，アンリ・バルダ各氏に師事。

プログラム

武満徹作曲：小さな空 うたうだけ
ビゼー作曲：オペラ「カルメン」より ハバネラ
オッフェンバック作曲：オペレッタ「ラ・ペリコール」より 酔っ払いの歌
などを予定



申込方法

電話による受付となります。

平成22年 9月8日（水）午前10:00から受付開始。

なお，定員（100名）になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム TEL/0238-26-3005

第16回

吾妻祭



～僕らが繋ぐこの瞬間～

10月9日(土) in 米沢女子短期大学

オープニングイベント

各種企画

清水翔太

開演 16:00～

開場 17:00～



清水翔太

10月10日(日) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・フリマ

10月11日(月) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ



弾丸ジャッキー



駐車場には限りがございます。なるべく公共機関をご利用ください。

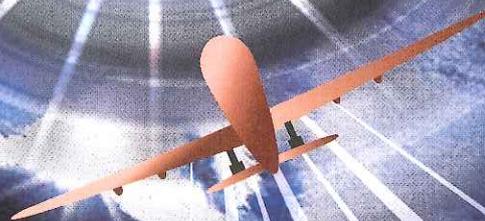
詳しくは'10 吾妻祭 HP で⇒ <http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>

主催：山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会



嵐の中の日本企業

—再生への道標—



10月12日(火)
「失われた20年」と日本企業
人文学部 教授 立松 潔

10月19日(火)
いま求められる
日本人の働き方・働かせ方
人文学部 講師 戸室 健作

10月26日(火)
日本製品のガラパゴス化の現状と今後
～携帯電話とデジタルカメラ産業を例にして～
人文学部 准教授 西平直史

11月2日(火)
これからの企業資産
～カタチはないけど大事な資産～
人文学部 准教授 緒方 勇

11月9日(火)
モジュール化の進展と日本企業の課題
人文学部 講師 真保智行

日 時：平成22年10月12日(火)～11月9日(火)
午後6時30分～8時10分

場 所：山形大学人文学部2階 205教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料：一般市民 2,000円
(大学生・高校生は無料)

募集期間：平成22年9月13日(月)～10月6日(水)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務ユニット

電話：023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

嵐の中の日本企業

—再生への道標—

講座の概要

現在、日本企業を取り巻く現状は厳しいものとなりつつあります。テフレの進展を背景に、多くの企業が価格競争に巻き込まれ、一方では経済全体の成熟化と共に、雇用情勢が悪化し、その雇用システムを見直す必要に迫られている企業もあります。

本講座では、こうした現状を踏まえて、日本企業の直面している課題がどのようなものなのか、また日本企業はどのように対応しようとしているのかを、日本経済、労働、情報システム、会計、経営戦略の観点から考えていきます。

第1回目

10/12

「失われた20年」と日本企業

人文学部 教授 立松 潔

火 日本経済はバブル崩壊後現在に至るまで「失われた20年」とも言われるような低迷の時代を過ごしてきました。この時代の日本企業は、国内の需要低迷＝テフレ経済と、グローバル化に伴う競争激化への対応を迫られ、また2008年秋の世界同時不況では輸出市場の急速な縮小によって大きな打撃を受けることになりました。このような様々な困難に日本企業がどう立ち向かったかを明らかにし、今後の課題を明らかにしていきます。

第2回目

10/19

いま求められる日本人の働き方・働かせ方

人文学部 講師 戸室 健作

火 1990年代の後半以降、日本では正社員数が急減する一方、非正社員数が急増しました。特に日本の基幹産業であるモノ造りの現場では派遣形態の労働者が広く活用され、「派遣切り」によってその問題点が社会的に注目されています。本講演では、製造現場の派遣労働を事例にして、非正社員の活用に関する諸課題を具体的に指摘します。また、ティーンワーク(人間らしい働き方)を求める新しい動き、コミュニティユニオン、「派遣村」等の事例を紹介します

第3回目

10/26

日本製品のガラパゴス化の現状と今後

—携帯電話とデジタルカメラ産業を例にして—

人文学部 准教授 西平 直史

近年、「ガラパゴス化」という言葉をよく目にします。その例が日本で販売されている携帯電話端末で、非常に高機能でデザインも洗練されていますが、世界市場における市場占有率は低くなっています。一方、デジタルカメラは日本製品が世界市場で圧倒的な占有率をもっています。両者の違いをもとに、「ガラパゴス化」の問題点と今後の戦略を概観します。

これからの企業資産—カタチはないけど大事な資産—

第4回目

11月2日

火 今、新しい企業資産として、無形資産の重要性がますます高まっています。無形資産とは、ブランド、研究開発力、データベース、企業組織、社員の技術・知識、ノウハウなどのことです。これら無形資産の重要性の高まりは、企業の経営方法を大きく変化させ、また、企業の情報開示制度にも変化を迫っています。本講演では、無形資産によって企業経営のあり方や企業情報開示制度に何が起きているのかについて考えていきます。

人文学部 准教授 **緒方 勇**

モジュール化の進展と日本企業の課題

第5回目

11月9日

火 液晶テレビや電気自動車といった製品では、モジュール化が進み、必要な部品を集めてくれば、誰もが質の高い最終製品を組み立てることができ、多くの企業が市場に参入してきています。そうした中で、日本企業は自らの強みを十分に発揮できずに、市場競争で難しい立場に立たされ、その一方では、外部からの生産受託に特化した台湾企業や、大規模投資に積極的な韓国企業が成長しています。そこで、なぜ日本企業の強みが生かされなくなったのか、また日本企業はどのようにして現状を打破しようとしているのかを解説します。

人文学部 講師 **真保 智行**

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8				2	0	0	0	
加入者名 国立大学法人山形大学										料金	備考							
通信欄 ※「嵐の中の日本企業—再生への道標—」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)										切り取らないで お出してください。								
おとこ (郵便番号) () ※ おなまえ (電話番号)										日 附 印	様							
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)										これより下部には何も記入しないでください。								

このから切り離して出してください。

振替払込請求書兼受領証																	
口座番号										通常払込 料金加入 者負担							
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8							
加入者名 国立大学法人山形大学										金額							
										千	百	十	万	千	百	十	円
														2	0	0	0
おとこ ※ おなまえ (電話番号)										様							
日 附 印										料 金 備 考							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。



- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成22年9月13日(月)～10月6日(水)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務ユニット
TEL: 023-628-4203
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部2階 205教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

二〇一〇年度公開講座

植物の魅力を訪ねて



田中射水／黒ゆりと月・雲

主催／山形大学附属博物館

2010年度公開講座 植物の魅力を訪ねて

山紫水明、四季それぞれの自然に恵まれた山形は、大きな樹木のみならず道端に咲く名も無き草花もみずみずしく、そのような草木の観察を身近に楽しむことができる素晴らしい環境にあります。

そんな山形県内の植物について、個々の種類の特徴や性質、植生の成り立ちなどについて、身近な知識としてわかりやすくお伝えし、これまでより一層植物に親しんでいただきたいというのが本講座の目的です。

小白川キャンパスでの座学では、山形県内の特徴的な植物について、それらが辿ってきた長い歴史についてお話をいたします。また、実物を観察するためにキャンパス内や山形市野草園内を散策して、植物に触れながら講師の話しに耳を傾けていただきます。

講座に参加された後、道を歩きながら、また山野を訪れた時に「おや、あれは」と植物たちに目を留めていただければ幸いです。

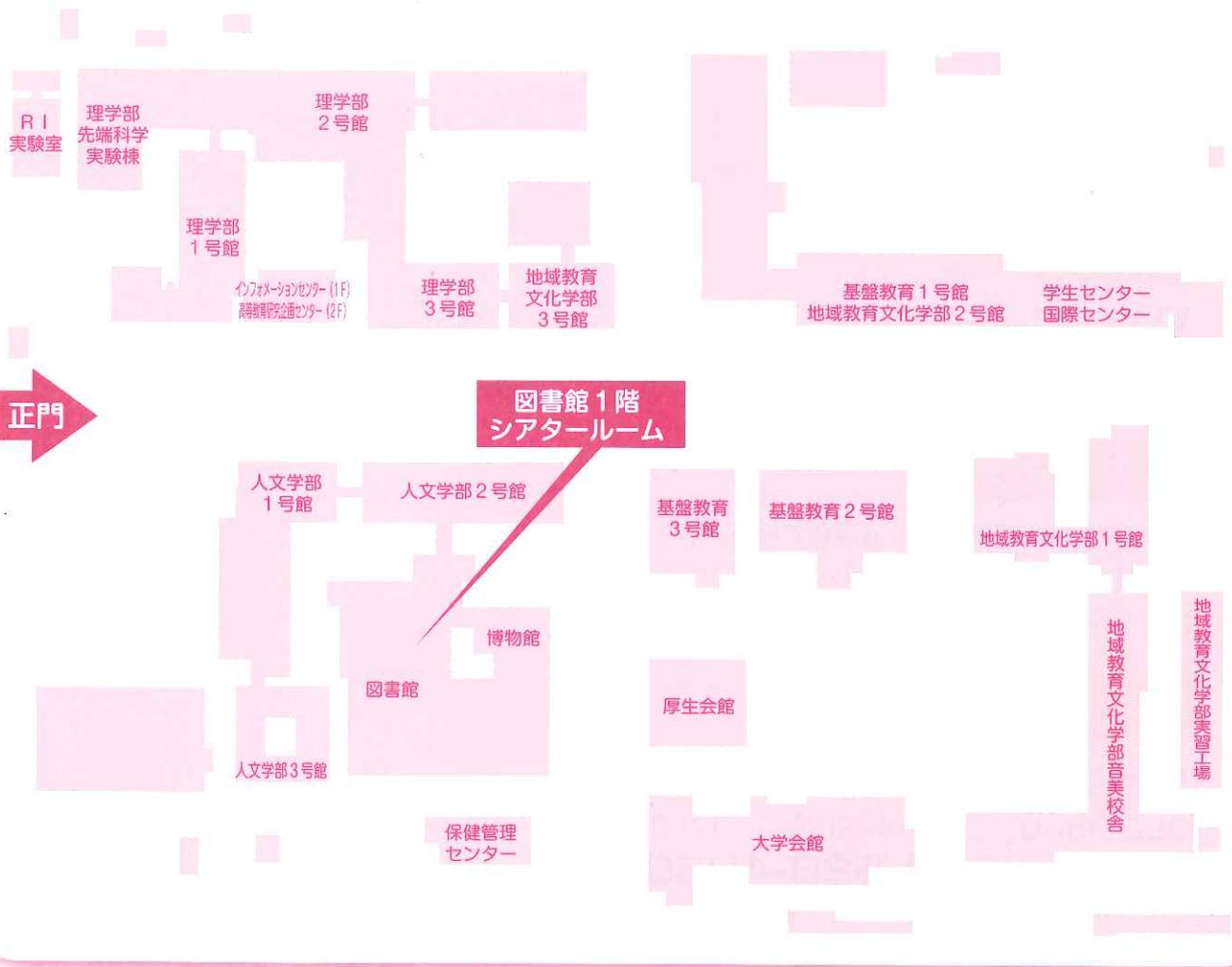
第1回
10/16 (土) 13:30~15:00 山形市野草園
「身近な植物を観察する」
講師/山形大学理学部 教授 横山 潤
※この回は山形市野草園で園内を観察しながらの講義となります。

第2回
10/23 (土) 13:30~15:00
山形大学小白川キャンパス図書館1階シアタールーム
「山形県の植物とその特色」
講師/山形大学理学部 教授 横山 潤

第3回
10/30 (土) 13:30~15:00
山形大学小白川キャンパス図書館1階シアタールーム
「東北地方の植物の分布」
講師/仙台市野草園 上野 雄規

会場案内図

<バス>山形駅前から「関沢」行きで「小白川1丁目」で下車、徒歩5分
または「山形県庁」行きで「南高前」で下車、徒歩5分
<タクシー>山形駅から10分程度



公開講座当日は、なるべく公共交通機関をご利用下さい

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号																			
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 国立大学法人山形大学											料金	備考							
通信欄 「植物の魅力を訪ねて」申込書 附属博物館 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。 <input type="checkbox"/> 職業をお書きください。() <input type="checkbox"/> 年齢をお書きください。() <input type="checkbox"/> 今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() <small>※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。 <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない (いずれかをチェック願います)</small>													おとこ (郵便番号)		様		日 附 印		
ご依頼人 おなまえ 様													(電話番号)						
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。
「」から切り離して郵便局へお出しください。

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
	9	2	4	7	8			
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				2	0	0	0	
ご依頼人	おなまえ 様							
料金	日 附 印							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押ししてください。
切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

募集人員

一般市民、大学生、高校生 **30名**

受講料

2,000円 (資料代含む)

申込期間

9月21日(火) ~ 10月15日(金)

10月12日以降に払込された方は、手続きの関係上、下記電話番号までご連絡下さい。

申込方法

「払込取扱票」に記入の上、郵便局で振り込みの手続きをして下さい。
通信欄に必要な事項の記入をお願いいたします。
先着順に受付し、受講申込受付票をお送りします。

問い合わせ先

山形大学附属博物館

990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX **023-628-4930**

E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ここから切り離して郵便局にお出してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

2010年度
山形大学理学部公開講座

DNAでつなぐ サイエンス

第1日目 10月23日(土)

第2日目 10月24日(日)

山形大学大学祭「やつみねさい八峰祭」同時開催

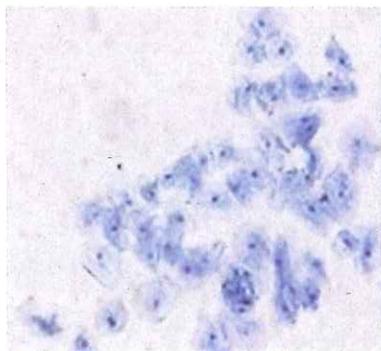
2010年度
山形大学理学部公開講座

DNAでつなぐ サイエンス

理学部公開講座は、例年6月の土曜日に開催しておりましたが、今年度は10月の山形大学大学祭「八峰祭^{やつみなさい}」と合わせて開催することといたしました。

今年のテーマは“DNA”（デオキシリボ核酸）です。理学部教員のDNAに関する興味深い話が聞けるとおもいます。

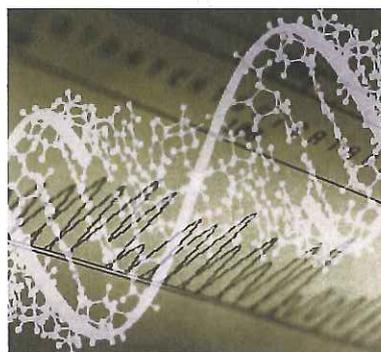
また、今回はDNAに関する実験を予定しております。1日目に実験を行い、2日目には実験結果の解析と説明をいたします。なお、毎年実施している研究室公開を2日目に行います。大学祭参加者も気軽に研究室を訪問できるように終日公開といたしました。いままでの形式と違いますが、より多くの方に理学部の研究を紹介する機会だと考えておりますので、本講座の参加と併せて是非ご覧いただきたいと思っております。



ヒトの口腔粘膜細胞。核が見える。



自分の細胞を顕微鏡で観察する。



DNAの分子構造と塩基配列



琥珀の中に取り込まれた虫の化石

プログラム

第1日目 10月23日(土)

13:00~13:10 開講式

13:10~16:30 生命の設計図
— 個体によるDNAの
違いを見る(実験)
生物学科教授 玉手英利

第2日目 10月24日(日)

10:00~11:15 生命の設計図
— 個体によるDNAの
違いを見る
(実験結果の解析と説明)
生物学科教授 玉手英利

11:15~13:00 会場移動・休憩(昼食)
(希望者は研究室見学)

13:00~14:00 X線の回折とDNAの構造
物理学科准教授 大西彰正

14:15~15:15 DNAに含まれる情報
物質生命化学科准教授
福田宏太郎

15:30~16:30 DNAから地球の歴史を
紐解く
地球環境学科准教授
ジョルダン R.W.

16:30~16:40 閉講式

16:40~17:00 解散(希望者は研究室見学)

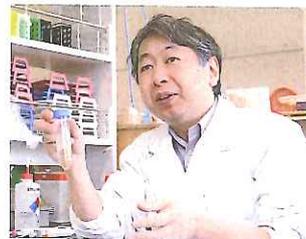
2日間受講された方には修了証書を授与いたします。

10月23日
13:10~

生命の設計図 — 個体によるDNAの違いを見る

講師：生物学科教授 玉手英利

私たちが、一人ひとり、顔かたちなど様々な性質が違うのは、各自がもつDNAに個体の違いに関する情報が書き込まれているからです。このような個体によって異なるDNA=遺伝情報を、実際に目で確かめる実験を行います。このプログラムでは、遺伝子に関する研究の最前線について理解を深め、究極の個人情報であるDNAを研究する学術的意義と倫理的問題について考えることを目的としています。



タマテヒデトシ：宮城県出身。専門分野は生態遺伝学で、特にニホンジカ、ツキノワグマなどの大型哺乳動物の集団構造に関する研究を行っている。最近、東北地方で分布を拡大しているニホンイノシシの研究を進めている。アニメやその他サブカルチャー系が好きで、押井守やティム・バートンなどに“はまっ”ている。

10月24日
10:00~

X線の回折とDNAの構造

講師：物理学科准教授 大西彰正

DNAの構造が二重らせんであることは良く知られています。この立体構造の解明に重要な手がかりを与えたのはDNAのX線回折写真でした。結晶によるX線の回折現象は1912年にドイツの物理学者ラウエにより発見され、結晶内部の原子の配列を調べる手段となりました。この講義では、私たちの目では直接見ることができない結晶内部の様子がなぜX線の回折からわかるのか、簡単な例をもとに解説します。



オオニシアキマサ：滋賀県出身。専門分野は光物性物理学。趣味・特技は、野球とガーデニング。妻、子3人と愉快に暮らしている。

10月24日
13:00~

DNAに含まれる情報

講師：物質生命化学科准教授 福田宏太郎

DNAは核酸の一種で、細胞の中に存在している長い鎖状の化学物質です。DNAの基本単位はヌクレオチドと呼ばれ、糖とリン酸、塩基から構成されています。塩基はアデニン、グアニン、シトシン、チミンのたった4種類しかありません。それにもかかわらず、DNAは地球上のほぼ全ての生物において、遺伝情報を担う物質となっており、生命の設計図とよく言われます。この講義では、「DNAが遺伝情報を担っていることの発見」、「DNAの構造と役割」についてご紹介いたします。



フクダコウタロウ：東京都出身。専門分野は分子生物学で、核酸(DNAやRNA)を材料とした「薬の種創り(核酸創薬)」を目指している。現在は、「C型肝炎ウイルス」や免疫応答に必須な「核酸センサー」に対する機能性核酸の開発にチャレンジしている。趣味・特技はバドミントンと映画鑑賞。妻、長男(1歳)の3人家族。

10月24日
14:15~

DNAから地球の歴史を紐解く

講師：地球環境学科准教授 ジョルダン R.W.

植物や動物の死後、細胞内のDNA分子は、すぐに変質し分解を始めます。したがって、化石のDNAが完全に保存されることはありません。にもかかわらず、我々はDNAの分解物(フラグメント)から絶滅した生物とそれらの進化について多くのことを理解し、フラグメント分子時計を使用して進化の段階の時期を明らかにしています。古いDNAを再構築する技術は絶えず向上しているため、今はSFでしかない「ジュラシックパーク」や「アイスエイジパーク」も、近い将来には現実になるかもしれません。講義ではその研究の一端についてご紹介いたします。



ジョルダン・リチャード：英国出身。専門分野は微古生物学と生物海洋学で、過去と現在の環境(特に極地海域とサンゴ礁)について研究している。趣味・特技は、フットサルと硬式テニス。熱烈的なモンテディオファンである。妻1人。

10月24日
15:30~

対象

一般の方(高校生以上) 40名

※事前申し込みが必要です。詳しくは、「お申し込み方法」欄をご覧ください。

受講料

1,000円

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、500円(資料代)となります。

※受講料は当日受付時にお支払いください。

会場

サイタ
山形大学SCITAセンター (理学部1号館内)
山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室



アクセス

山形駅前(4番のりば) 12:10発(2日目は9:10発)の「県庁前待合所」行きに乗り「南高前・山大入口」で下車、徒歩7分。

お申し込み方法

はがき・Eメール・FAXで、1.お名前 2.性別 3.年齢 4.郵便番号 5.ご住所 6.お電話番号 7.ご職業または在学学校名・学年を、下記お申し込み先までお知らせください。先着順で受け付け、受講証をお送りします。

お申し込み期間
**2010年
9月15日(水)~
10月15日(金)**

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、事前申し込みは必要ありません。

2日目13:00以降からの講義は、100名まで受講可能です。

お申し込み・お問い合わせ先

山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4505 / FAX: 023-628-4510

E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【受付時間】 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日は除く)

<お願い>

■ 1日目(10月23日)の実験については、次の①~③をご了解の上、ご参加ください。

- ① この実験には、参加する方が自分の細胞・DNA・遺伝子の一部を観察する内容が含まれています。
- ② この実験で観察する個人の細胞・DNA・遺伝子は当日中に廃棄し、他の目的には使用いたしません。
- ③ この実験で観察する遺伝子は個人の健康状態等に関する情報を含みません。

.....
■ 公開講座は、山形大学大学祭「八峰祭」と同日開催となります。そのため、講座当日は小白川キャンパスへの車両の入構は一切できませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

■ FAXお申し込み用紙

必要事項をご記入の上、山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係までお申し込みください。

FAX: 023-628-4510

お名前	性別 男・女	年齢 歳
ご住所 〒	ご職業・学校名(学年)	
電話番号		

※お知らせいただいた個人情報は、今回の公開講座の事務手続き以外には使用いたしません。

この面をそのままFAXしてください。

どうなる どうする
日本の食シンポジウム

「弁当の日」 in 山形

竹下和男・内田美智子・佐藤弘の3氏が揃うビッグイベント山形初上陸!

私たちは毎日山形大学生に食事を提供している山形大学生生活協同組合です。山形大学生協はこの間、一日3食、バランス良い食事をおいしく楽しくたべるという取り組みを進めてきました。取り組みを進める中で幼少時代からの食生活の確立がとても大事だとあらわれ「弁当の日」は、食事を作ることの大変さへの感謝などについて、大学生だけ先生・生産者などにも参加していたえ・行動する」きっかけにして頂けた「食べることは生きること」「『弁当びや成長』『作れることの大切さ』したいと考えています。

ためて認識しました。今回の企画「ひろがさ、一緒に食べることの楽しさ、そしてでなく、お母さん・保育士・学校のだき、「食育」について「学び・考らと思ひ企画しました。とりわけの日』を通じた子どもたちの学などを大学から地域に情報発信

プログラム

- 12:20 開場
- 13:00 開演:主催者あいさつ(山形大学生協)
- 13:05 「なぜ今『食』なのか」
佐藤 弘さん(西日本新聞社編集委員)
- 13:30 「食卓から始まる生教育」
内田 美智子さん(助産師)
- 14:15 ~休憩(15分間)
- 14:30 「これが元祖、弁当の日」
竹下 和男さん(前香川綾上中学校校長)
- 15:15 「大学生の弁当の日」
佐藤 弘さん
- 15:30 講師のみなさんのクロストーク
「ひろがれ弁当の日」
- 15:50 朗読「泣きみそ校長と弁当の日」より
- 16:00 閉会



2010 日時・会場
11/3 文化の日
13:00~16:00
山形大学小白川キャンパス
第一体育館



参加
無料

どなたでも自由にご参加いただけます。

※参加申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

- 【主催】山形大学、山形大学生生活協同組合、山形県生活協同組合連合会
- 【共催】山形県農業協同組合中央会、山形県漁業協同組合連合会、山形県森林組合連合会
- 【後援】山形県、山形県教育委員会、山形新聞・山形放送

講師・パネリスト紹介



内田美智子 (うちだ みちこ)

助産師。1957年(昭和32)大分県生まれ。国立熊本病院附属看護学校、国立小倉病院附属看護助産学校助産師科卒業。福岡赤十字病院産科勤務を経て8年、福岡県行橋市にて産婦人科医の夫とともに内田産婦人科医院を開業。2004年、九州

思春期研究会設立、事務局長をつとめる。また、文部科学省委嘱、性教育実践調査研究事業委員を歴任し、2007年に福岡県社会教育委員を経て、現在に至る。産婦人科という医療現場から見える、現代の子供たちの「生」「性」「食」の問題を中心に、精力的な講演活動を行っている。著書に『ここ〜食卓から始まる生教育〜』(西日本新聞社)『いのちをいただく』(西日本新聞社)などがある。



佐藤 弘 (さとう ひろし)

中学時代、有吉佐和子の「複合汚染」を読み、ふるさとの野山がおかされていくわけを知る。百姓を志し、東京農大農業拓殖学科に進学するも、深遠なる「農」の世界に触れ、実践者となることを断念。側面から支援する側に回ろうと西日本新聞社

に入社。システム開発部、日田支局、筑豊総局、経済部などを経て、現在、編集企画委員会で長期企画「食卓の向こう側」を担当。著書に『農は天地有情 宇根豊聞き書き』(西日本新聞社)『「農」に吹く風』(共著・不知火書房)『竹田読本』(共著・西日本新聞社)などがある。



竹下和男 (たけした かずお)

1949年香川県生まれ。平成13年～14年の2年間、当時校長を務めていた陵南町立滝宮小学校の5・6年生で「子どもが作る“弁当の日”」を実施し、その後四国・九州を中心に全国で食育の活動を行う。「地域に根ざした食育コンクール2003」では最優

秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。2010年香川県綾川町立綾上中学校校長を定年退職。主な著書に『“弁当の日”がやってきた』(共著・自然食通信社)『台所に立つ子どもたち』(共著・自然食通信社)『始めませんか子どもがつくる“弁当の日”』(共著・自然食通信社)『泣きみそ校長と弁当の日』(共著・西日本新聞社)などがある。



竹下先生の講演スライドより

成人した人体は、60兆の細胞からなる。
1日に1兆の細胞が死に、1兆の細胞が生まれている。
その細胞のすべては食べ物から作られている。
生きているということは、常に死に続け、生まれ続けている現象のこと。
だから、食べるために生きているのではない。
生きるために食べているのではない。
「食べる」ことそのものが「生きる」ということ。
「生きる」ことそのものが「食べる」ということ。
命がつながり続けるということ。

“弁当の日”が導くもの。
命のバトンタッチを体験すること。
食材の命を奪わねば自分は生きていられないことに気づくこと。
奪った命が、自分の命になっていくことに気づくこと。
食べるという営みの尊さを、弁当づくりで気づくこと。
“弁当の日”で子どもたちを変えようとしているのではない。
未来を切りひらく子どもたちが、「食べることは生きること」に気づき、
ゆったりと、健やかに育つ環境を整えようとしているのだ。
だから、ひろがれ! 広がれ! “弁当の日”

【申込方法】FAXまたはWEB(携帯可)でお申し込みください。

●FAXの場合(※取得した個人情報はイベント開催実務にのみ使用いたします。なお、法令および規程に基づき厳重に管理いたします。)
郵便番号・住所・氏名・電話番号・FAX番号・「弁当の日参加希望」と書いて **023-641-5680** にFAXして下さい。(用紙は自由)
※複数以上で参加の場合も、全員分ご記入ください。無料貸切バスを利用する場合は乗車地(米沢または鶴岡)も記入して下さい。



●FAX送付先 023-641-5680 山形大学生生活協同組合
●WEB(PC) <http://www.yamagata.u-coop.or.jp/bento/>
◀携帯はこちらからアクセス!

受付期間: 9月1日～10月20日(但し定員700名に達し次第受付を終了します)

※10月下旬に「参加証(はがき)」をお届けしますので、当日ご持参ください。「参加証」と引き換えにもれなく素敵なプレゼントがあります。

【その他】無料貸切バスを運行します。(※申し込み必要・いずれも途中乗車・下車不可)

①10:30 工学部キャンパス正門発 ～ 11:50 小白川キャンパス着(帰りは16:40発)

②10:20 農学部キャンパス正門発 ～ 11:50 小白川キャンパス着(帰りは16:30発)

※駐車場はキャンパス内に先着約150台分しか準備できませんので、出来る限り乗合や公共交通機関、無料貸切バスをご利用ください。
※当日は学内の生協食堂が臨時営業しますので、昼食をとってからご参加いただけます。(営業時間 11:30～12:45)

お問い合わせ 山形大学生生活協同組合 TEL: 023-641-4380

平成22年度 山形大学保健管理センター 公開講座のお知らせ

テーマ：発達障害の理解と支援について ～ 思春期を中心に ～

山形大学保健管理センターでは、山形大学学生や教職員の心身の健康支援を行っております。

今回の公開講座では、最近、小・中・高校生のみならず大学生においてもアスペルガー症候群等の発達障害を持つ学生が増加傾向にあることが話題になっていることから、「発達障害」をテーマにいたしました。発達障害についての理解を深め良い支援を行うために発達障害について詳しい専門家 神田 秀人 先生をお招きして講演会を開催いたしますので、ふるってご参加ください。

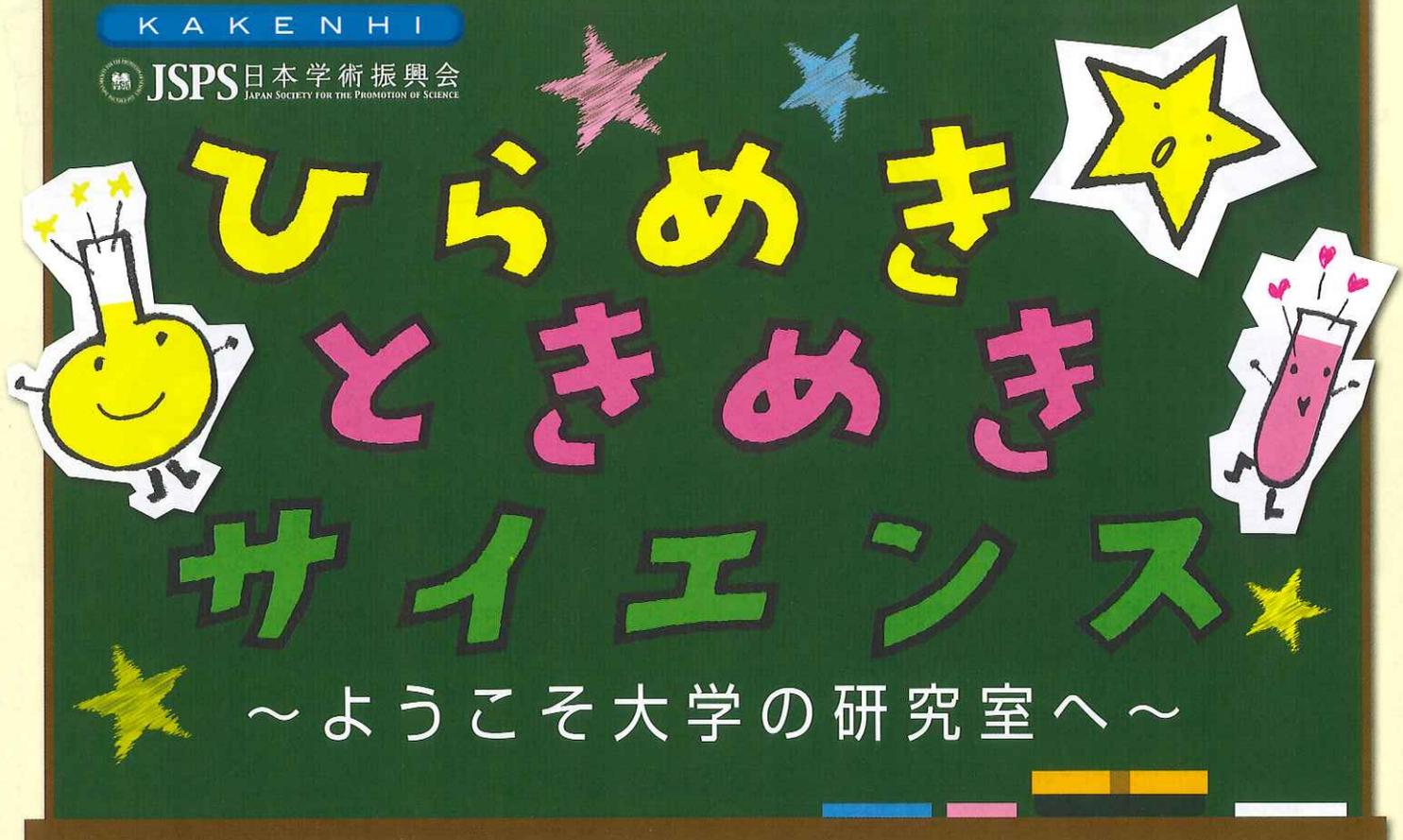


- 期 日** :平成22年11月5日(金) 18:00から20:00まで
- 場 所** :山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館1階211番教室
- 講 師** :山形県立鶴岡病院 神田 秀人 氏
- 受 講 対 象** :一般市民、本学学生・教職員
- 定 員** :100名
- 受 講 料** :無料
- 申込み方法** :所定の受講申込書にご記入の上、FAX又は郵送等でお申込みください
- 申込み期限** :平成22年10月29日(金)まで
- 問い合わせ** :山形大学保健管理センター
及び申込み先 〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号
TEL:023-628-4154 FAX:023-628-4157
E-mail: nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

KAKENHI



JSPS 日本学術振興会
JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE



～ようこそ大学の研究室へ～

「有機の光を体験しよう」

2010

城戸 淳二 教授

11/13^土

★★★★ スケジュール ★★★★★
(予定)

- 開催場所** 山形大学工学部
(山形県米沢市城南4丁目3-16)
- 申込締切** 2010年10月31日
- 対象** 中学生(20名)
- 内容**

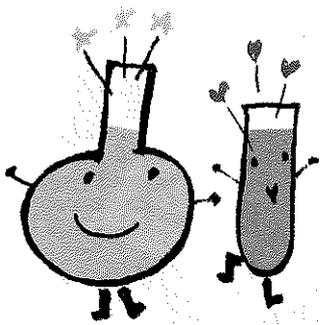
- 9:30~10:00... 受付、開場
- 10:05~10:30... 開校式(挨拶、オリエンテーション)
- 10:30~10:50... 講演「有機ELについて(仮)」
講師 城戸 淳二 教授
- 10:50~11:00... (休憩)
- 11:00~12:00... 実験「光る蛍光物質合成」
- 12:00~13:30... 昼食
(先生方、大学院生とともに学食で食事)
- 13:30~15:00... 実験「有機EL素子の作製」、
評価、ディスカッション
- 15:00~15:10... (休憩)
- 15:10~15:45... クッキータイム、フリートーク
(先生方や大学院生への質問コーナー)
- 15:45~16:00... 修了式(未来博士号授与・アンケート記入)
及び写真撮影

世界で今、一番注目をあびている「有機EL」について様々な体験をしてもらいます。
はじめに、城戸先生から「有機ELはどんなもの?」について教えてもらいます。
お話の後には、参加者の皆さんに有機物質を合成したり、有機ELを作ってもらおう実験実習を行います。
昼食は、学食でちょっぴり大学生気分を味わっていただくほか、後半にはお茶をいただきながら、城戸先生への質問コーナーやフリートークの時間も用意しています。
中学生の皆さん、楽しみながら心に残るステキな体験を試みませんか。

お問い合わせ先：山形大学工学部研究支援室 TEL 0238-26-3004
E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp

事業の詳しい内容はHPからご覧ください → ひらめき☆ときめきサイエンス

本プログラムは独立行政法人日本学術振興会による研究成果の社会還元・普及事業です。



ひらめき★ ときめき サイエンス

有機の光を
体験しよう

～ようこそ大学の研究室へ～

期日

平成22年11月13日(土)
10:00~16:00

場所

山形大学工学部

対象

中学生(20名)

参加費
無料!

参加お申込み方法

●ホームページから申し込む場合

<https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar>
※山形大学「有機の光を体験しよう」の「申込」をクリック!

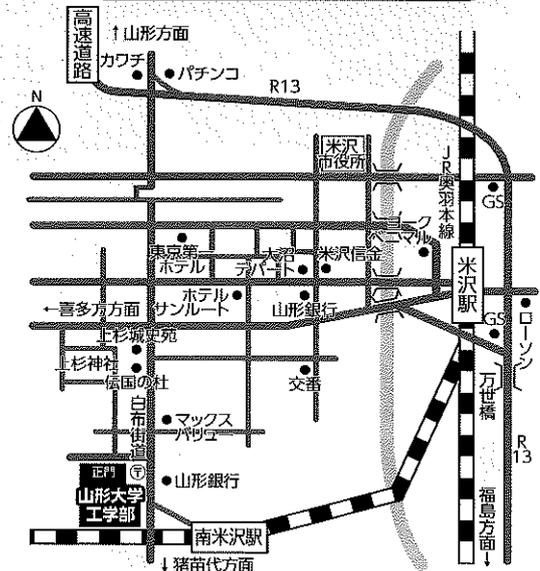
●Eメールで申し込む場合

edison@yz.yamagata-u.ac.jp
※参加申し込み書の内容を送信
タイトルに「ひらめき参加希望」とお書き下さい。

●FAXで申し込む場合

FAX:0238-26-3401
※下記の参加申込書を送付して下さい。

ACCESS



参加申込書

氏名・性別				<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
学校名(学年・年齢)	中学校 (年・ 歳)				
住所					
電話番号					
メールアドレス					
ご家族・学校関係者の見学の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	保護者の同意(必須)	<input type="checkbox"/> 同意有り	

※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

お申込み・お問い合わせ先*山形大学工学部研究支援室
TEL:0238-26-3004 FAX:0238-26-3401 E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp